

第3回（平成25年度実施）

高齢者の生活実態と介護サービス等  
に関する意識調査

報告書

平成26年3月

大阪府

# 目次

第1章	調査実施概要	1
第2章	調査結果	3
	基本情報	
1.	回答者の属性	4
	(1) 調査票の記入者	4
	(2-1) 性別	5
	(2-2) 年齢	6
	(3) 住宅の種類	7
	(4) 世帯構成	8
	(5) 市町村名	9
	介護保険	
2.	介護保険制度の周知状況	10
	(6) 介護保険制度の認識度	10
	(7) 介護保険制度の認識方法	12
	(8) 介護保険制度の利用手続きの認識度	14
3.	介護保険サービスの利用状況	15
	(9) 要介護(要支援)認定の有無	15
	(10) 要介護(要支援)認定を受けた理由	16
	(11) 介護保険サービス利用の有無	18
	(12) 介護保険サービスを利用していない理由	20
4.	利用者の満足状況	22
	(13) 介護保険サービス事業者の選定基準	22
	(14) 介護保険サービス利用者の満足度	24
	(15) 介護保険サービスの不満な点	26
5.	介護保険制度に対する考え方	27
	(16) 24時間介護(看護)サービスの利用意向	27
	(17) 負担と給付の関係	28

# 目次

## 地域支援

6. 介護予防	29
(18)病気の予防や健康作りで心がけていること	29
(19-1)市町村からの質問票への回答の有無	30
(19-2)市町村からの質問票に回答しない理由	31
(20-1)市町村の介護予防事業への参加意向	32
(20-2)市町村の介護予防事業に参加しない理由	33
(21)介護予防に対する考え方	34
7. 地域のネットワーク	35
(22)地域包括支援センターの認識度	35
(23)地域のネットワークづくりに必要なこと	37
8. 高齢者虐待防止	38
(24)高齢者虐待に当てはまると思うもの	38
(25)高齢者虐待防止のために必要なこと	40
9. 医療とのつながり	41
(26)病院・診療所への通院の頻度	41
(27)かかりつけ医との関わり方	42
10. 認知症	43
(28)認知症の認識度	43
(29)認知症に対する考え方	45
(30)認知症の人が安心して暮らせるまちにするために	47
(31)成年後見制度の認識度	48

# 目次

## 暮らしの安全安心

- 11. 日常生活の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
  - (32)日々の充実感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
  - (33)生きがいを感じていること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
  - (34)日々の暮らし向き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
  - (35)日常生活上の不安や悩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
  - (36)日常の買い物の困難・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
  - (37)仕事やボランティア活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
- 12. 地域の安全・安心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
  - (38)高齢者の支え合いとしてあなたができること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
  - (39)住んでいる地域での暮らしの安心感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
  - (40)日常的に相談できる相手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
  - (41)災害時の避難・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

## 今後の暮らし

- 13. 希望する暮らし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
  - (42)希望する暮らし方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
- 14. 施設入所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
  - (43)施設入所にあたって重視する点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

## 今後の施策

- 15. 重要な施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
  - (44)今後、重要と思う施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

## 基本情報

- 16. 障がい者手帳の所持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
  - (45-1)障がい者手帳の所持・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
  - (45-2)障がい者手帳の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66

## 第3章 調査結果データ(集計表)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

- ①構成比(%)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
- ②実数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121

## 資料 アンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175

# 第1章 調査実施概要

## 1. 調査目的

大阪府に居住する65歳以上の高齢者を対象に、日常の生活状況や介護(予防)サービス等についての意識を把握し、今後の大阪府の高齢者保健福祉施策や介護保険制度の運営に資する基礎資料を得るために実施した。

## 2. 調査設計

- (1)調査地域 府内全域
- (2)調査対象 満65歳以上の府民
- (3)調査対象数 5,680人
- (4)調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5)調査項目 巻末アンケート調査票参照
- (6)調査実施期間 平成25年10月7日(月)～25日(金)

## 3. 回収結果

標本数	不到達 標本数	到達 標本数	回収数	標本数 に対する 有効回答率	到達標本数 に対する 有効回答率
(a)	(b)	(c)=(a)-(b)	(d)	(d)/(a)	(d)/(c)
5,680	25	5,655	4,076	71.8%	72.1%

※不到達:転居先不明等で返戻されたもの

## 4. 表記などについて

- (1) 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合がある。  
また、複数回答を求めた設問は、回答者数に対する割合を示しているため、合計値は100%を超える。
- (2) 文中に示す「n」は、各設問の回答者数である。
- (3) 本文中の結果の数値は百分率(%)で表しているが、比較などの場合はポイントという表現を用いている。

- (4) 調査結果は、「全体」の構成比と各属性項目の構成比を比較することで、「全体」(平均)との差を把握できる。  
また、集計表中、濃い網掛けは、全体より10ポイント高いもの、薄い網掛けは、全体より5ポイント高いものである。
- (5) 前回までの調査対象者は、要介護・要支援認定を受けている者と受けていない者を半数ずつとしていたが、今回は、認定の有無を考慮せず無作為抽出としたため、経年比較については、要介護・要支援認定を受けている者と受けていない者それぞれにおける比較としている。
- (6) 各属性項目における「不明」の回答は表記していない。
- (7) 属性などにおいて顕著な差がみられない場合は、解説を記載していない。
- (8) 回答数が少ない場合の集計結果については、統計上の信頼性が低いと考えられる場合もある。

## 【参考】

圏域	標本数	有効回答数	構成比(%)
大阪市高齢者保健福祉圏	840	586	14.4
豊能高齢者保健福祉圏	730	541	13.3
三島高齢者保健福祉圏	550	438	10.7
北河内高齢者保健福祉圏	840	591	14.5
中河内高齢者保健福祉圏	560	346	8.5
南河内高齢者保健福祉圏	690	523	12.8
堺市高齢者保健福祉圏	560	368	9.0
泉州高齢者保健福祉圏	910	610	15.0
不明	-	73	1.8
合計	5,680	4,076	100.0

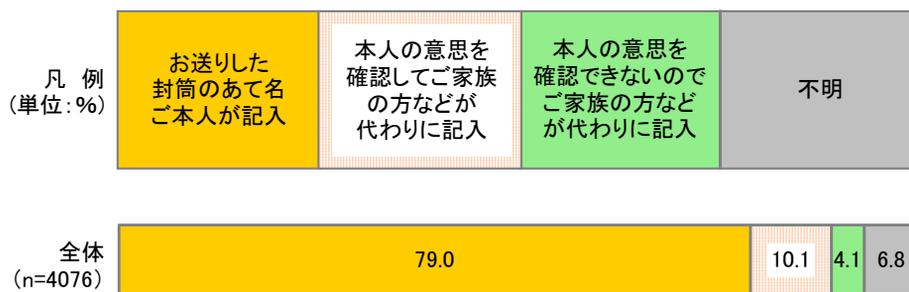
※構成比は、有効回答数の合計に占める割合

## 第2章 調査結果

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問1.調査票の記入者

- 記入者は、「本人が記入」が約8割(79.0%)を占めている。「本人の意思を確認してご家族の方などが代わりに記入」が10.1%、「本人の意思を確認できないので、ご家族の方などが代わりに記入」が4.1%であった。
- 要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「本人が記入」は低くなっており、要介護5では、約6割(59.4%)が「本人の意思を確認できないので、ご家族の方などが代わりに記入」となっている。

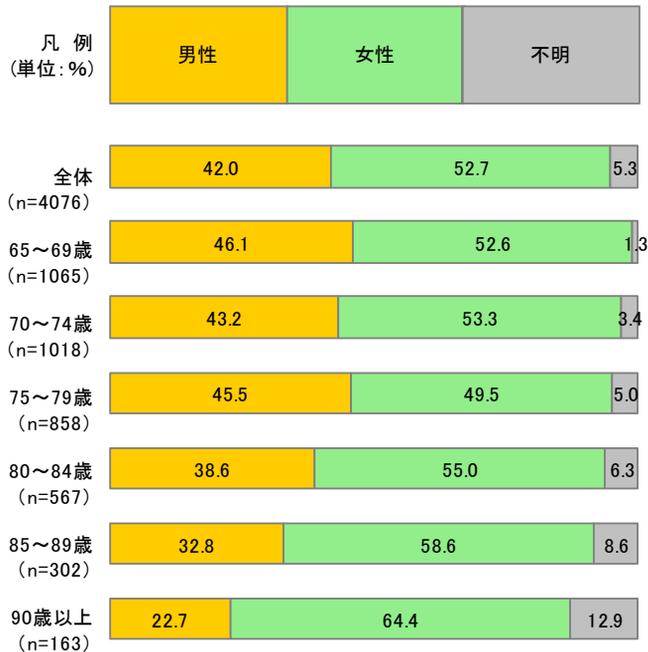


## 問1. この調査票はどなたが記入されますか。

	サンプル数	本人が記入した封筒のあて名ご本人が記入	本人の方などが意思を確認してご家族の方などが代わりに記入	本人の意思を確認できないのでご家族の方などが代わりに記入	不明	
全体	4076	79.0	10.1	4.1	6.8	
要介護度	要支援1	271	79.7	10.7	0.7	8.9
	要支援2	203	64.0	22.2	2.0	11.8
	要介護1	122	40.2	41.8	13.1	4.9
	要介護2	125	32.8	43.2	16.8	7.2
	要介護3	88	15.9	50.0	27.3	6.8
	要介護4	72	13.9	38.9	47.2	-
	要介護5	69	5.8	29.0	59.4	5.8
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	90.2	4.9	0.7	4.3

問2-1.性別

- 性別は、「男性」が42.0%、「女性」が52.7%であった。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど「女性」の比率が高くなっており、90歳以上では「女性」が64.4%を占める。
- 要介護度別では、認定を受けていない層では男女がほぼ同数であるが、要支援・要介護の各層では、「女性」が約6割を占めている。



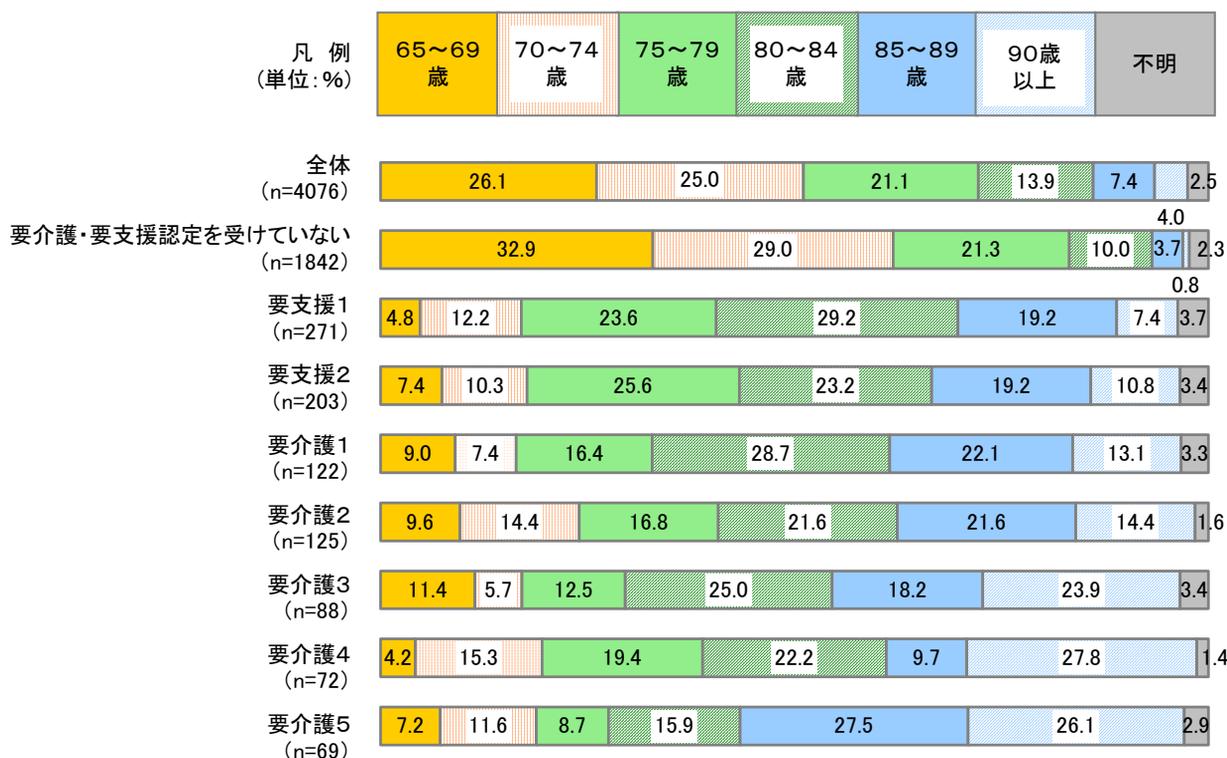
問2-1. あなたの性別をお答えください。

		サンプル数	男性	女性	不明
全体		4076	42.0	52.7	5.3
年齢	65～69歳	1065	46.1	52.6	1.3
	70～74歳	1018	43.2	53.3	3.4
	75～79歳	858	45.5	49.5	5.0
	80～84歳	567	38.6	55.0	6.3
	85～89歳	302	32.8	58.6	8.6
	90歳以上	163	22.7	64.4	12.9
要介護度	要支援1	271	26.9	65.3	7.7
	要支援2	203	27.1	63.1	9.9
	要介護1	122	31.1	59.0	9.8
	要介護2	125	38.4	56.8	4.8
	要介護3	88	31.8	61.4	6.8
	要介護4	72	31.9	59.7	8.3
	要介護5	69	21.7	66.7	11.6
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	47.0	49.5	3.6

# 基本情報 1.回答者の属性

## 問2-2.年齢

- 年齢は、「65～69歳」「70～74歳」「75～79歳」はそれぞれ2割台、「80～84歳」は13.9%、「85～89歳」は7.4%、「90歳以上」は4.0%と、年齢が上がるほど減少している。
- 要介護度別にみると、認定を受けていない層は「65～69歳」「70～74歳」がそれぞれ約3割で合計で6割強を占めるが、要支援・要介護では、合計でも2割前後にとどまり、「80歳以上」が半数以上を占めている。特に、要介護3～5は、「90歳以上」の比率が24～28%と高くなっている。

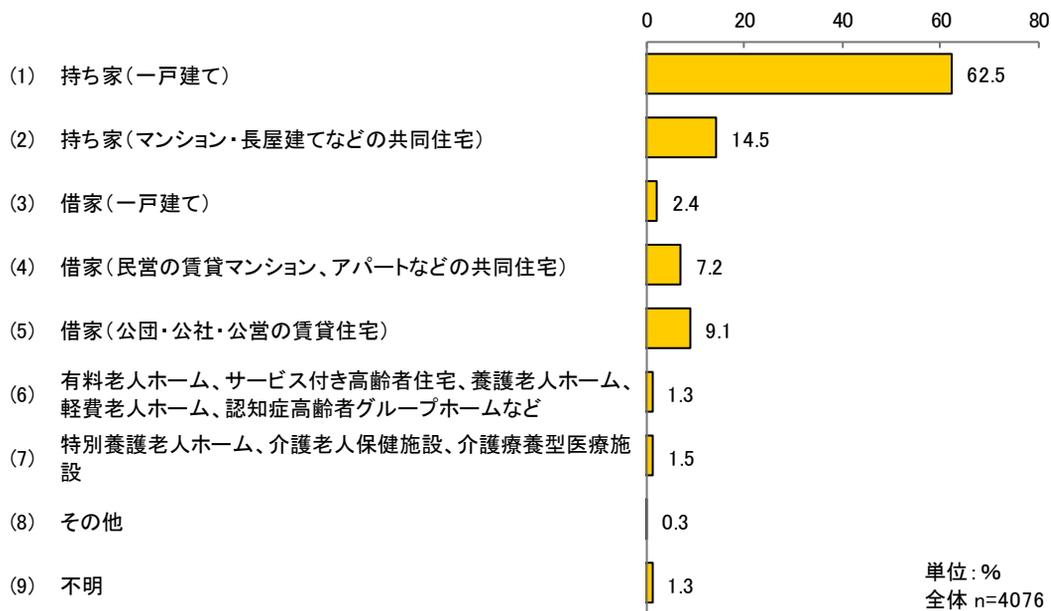


問2-2. あなたの年齢をお答えください。

		サンプル数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	不明
全体		4076	26.1	25.0	21.1	13.9	7.4	4.0	2.5
要介護度	要支援1	271	4.8	12.2	23.6	29.2	19.2	7.4	3.7
	要支援2	203	7.4	10.3	25.6	23.2	19.2	10.8	3.4
	要介護1	122	9.0	7.4	16.4	28.7	22.1	13.1	3.3
	要介護2	125	9.6	14.4	16.8	21.6	21.6	14.4	1.6
	要介護3	88	11.4	5.7	12.5	25.0	18.2	23.9	3.4
	要介護4	72	4.2	15.3	19.4	22.2	9.7	27.8	1.4
	要介護5	69	7.2	11.6	8.7	15.9	27.5	26.1	2.9
要介護・要支援認定を受けていない		1842	32.9	29.0	21.3	10.0	3.7	0.8	2.3

## 問3.住宅の種類

- 住宅の種類は、「持ち家(一戸建て)」が62.5%と多数を占める。次いで、「持ち家(マンション・長屋建てなどの共同住宅)」が14.5%、「借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)」が9.1%である。
- 要介護度別にみると、認定を受けていない層、要支援1～要介護3までは「持ち家(一戸建て)」が半数以上を占めている。要介護4～5では「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設」や「有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅など」の割合が高くなっている。

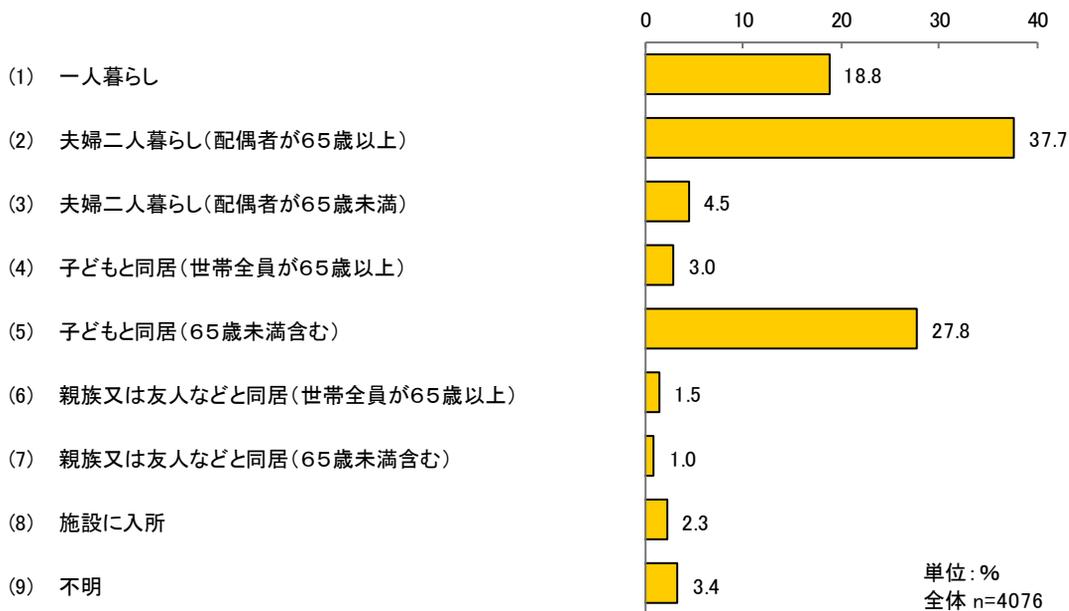


問3. あなたがお住まいの住宅や施設の種類は、次のうちどれにあたりますか。

		サンプル数	持ち家(一戸建て)	持ち家(マンション・長屋建てなどの共同住宅)	借家(一戸建て)	借家(民営の賃貸マンション、アパートなどの共同住宅)	借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)	住宅、有料老人ホーム、サービス付き高齢者グループホームなど	特別養護老人ホーム、介護療養型医療施設	その他	不明
全体		4076	62.5	14.5	2.4	7.2	9.1	1.3	1.5	0.3	1.3
要介護度	要支援1	271	60.1	13.7	1.1	8.9	10.3	3.0	1.1	0.4	1.5
	要支援2	203	56.7	13.3	6.4	7.4	9.9	2.5	-	0.5	3.4
	要介護1	122	56.6	10.7	3.3	7.4	9.8	6.6	4.9	-	0.8
	要介護2	125	56.0	13.6	5.6	9.6	4.8	4.0	5.6	-	0.8
	要介護3	88	54.5	14.8	2.3	4.5	4.5	6.8	9.1	1.1	2.3
	要介護4	72	41.7	15.3	1.4	4.2	6.9	9.7	19.4	1.4	-
	要介護5	69	30.4	8.7	2.9	7.2	1.4	15.9	27.5	1.4	4.3
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	67.1	15.5	1.7	5.4	8.8	0.2	0.1	0.3	0.9

## 問4.世帯構成

- 世帯構成は、「夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)」(37.7%)、「子どもと同居(65歳未満含む)」(27.8%)、「一人暮らし」(18.8%)の順に上位。
- 性別で見ると、女性の「一人暮らし」の比率が24.5%と、男性の11.0%より高い。
- 年齢別にみると、79歳以下では「夫婦二人暮らし」が約半数を占めるが、80歳以上では「一人暮らし」が約4分の1を占めている。
- 要介護度別では、要支援1～2では「一人暮らし」が最も多い。要介護1～2では「子どもと同居」が約4割であるが、要介護3～5では「施設に入所」の増加に伴い、「子どもと同居」が約3割となっている。



### 問4-1. あなたの世帯構成についてうかがいます。

		サンプル数	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	子どもと同居(65歳未満含む)	親族又は友人など同居(世帯全員が65歳以上)	親族又は友人など同居(65歳未満含む)	施設に入所	不明
全体		4076	18.8	37.7	4.5	3.0	27.8	1.5	1.0	2.3	3.4
性別	男性	1711	11.0	45.3	8.7	2.1	27.0	1.2	0.8	1.2	2.6
	女性	2150	24.5	32.8	1.3	3.5	28.9	1.9	1.1	2.9	3.1
年齢	65～69歳	1065	12.6	35.8	12.0	2.3	30.9	2.3	1.6	0.2	2.3
	70～74歳	1018	17.2	43.5	3.2	2.0	27.7	1.6	0.7	0.8	3.3
	75～79歳	858	20.6	48.3	1.9	2.4	22.7	0.7	0.3	1.0	2.0
	80～84歳	567	25.2	33.2	0.5	2.1	28.9	1.1	1.6	3.2	4.2
	85～89歳	302	26.2	21.5	0.3	5.0	32.5	1.7	0.7	8.6	3.6
	90歳以上	163	25.2	6.7	-	17.2	23.9	0.6	1.8	18.4	6.1
要介護度	要支援1	271	39.1	28.0	0.7	2.6	22.1	0.7	0.4	2.2	4.1
	要支援2	203	31.0	30.0	1.5	3.9	23.2	1.0	1.0	2.5	5.9
	要介護1	122	24.6	19.7	3.3	4.1	35.2	-	-	9.0	4.1
	要介護2	125	20.8	24.0	-	8.0	34.4	2.4	1.6	8.0	0.8
	要介護3	88	18.2	25.0	1.1	6.8	26.1	2.3	2.3	12.5	5.7
	要介護4	72	6.9	29.2	-	8.3	25.0	-	2.8	27.8	-
	要介護5	69	15.9	10.1	1.4	8.7	27.5	-	-	31.9	4.3
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	15.1	43.4	5.8	1.8	28.4	1.7	1.0	0.2	2.4

問5.市町村名

- 住んでいる市町村は、「大阪市」が最も多く14.4%。以下、「堺市」(9.0%)、「高槻市」(5.3%)、「東大阪市」(4.6%)、「豊中市」(4.3%)の順に上位となっている。

問5. あなたがお住まいの市町村はどちらですか。

	サンプル数	大阪市	豊中市	池田市	吹田市	箕面市	高槻市	茨木市	摂津市	守口市	枚方市	寝屋川市	大東市
全体	4076	14.4	4.3	2.0	3.4	1.8	5.3	2.8	1.4	2.1	3.8	3.1	1.5

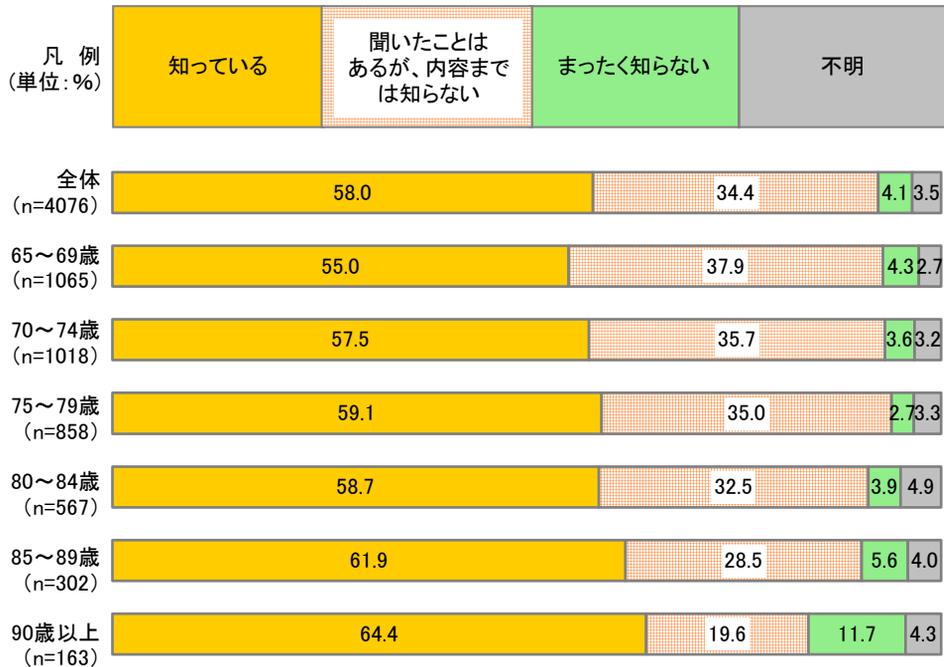
	サンプル数	門真市	四條畷市	交野市	八尾市	柏原市	東大阪市	富田林市	河内長野市	松原市	羽曳野市	藤井寺市	大阪狭山市
全体	4076	1.8	1.3	0.9	2.7	1.2	4.6	1.7	2.0	1.7	1.7	1.1	1.6

	サンプル数	堺市	岸和田市	泉大津市	貝塚市	泉佐野市	和泉市	高石市	泉南市	阪南市	豊能町	能勢町	島本町
全体	4076	9.0	2.4	1.2	1.2	1.8	1.7	1.3	1.3	1.1	1.0	0.9	1.2

	サンプル数	太子町	河南町	千早赤阪村	忠岡町	熊取町	田尻町	岬町	不明
全体	4076	1.1	1.0	1.0	0.8	0.6	0.8	1.0	1.8

## 問6.介護保険制度の認識度

- 介護保険制度の認識度は、「知っている」が58.0%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が34.4%、「まったく知らない」が4.1%である。
- 年齢別にみると、「知っている」は年齢が上がるごとに高くなっており、65～69歳で55.0%、90歳以上で64.4%となっている。ただ、90歳以上では「まったく知らない」も11.7%と高い。



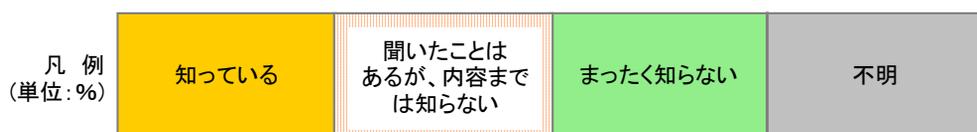
問6. あなたは、介護保険制度について知っていますか。

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	まったく知らない	不明
全体		4076	58.0	34.4	4.1	3.5
年齢	65～69歳	1065	55.0	37.9	4.3	2.7
	70～74歳	1018	57.5	35.7	3.6	3.2
	75～79歳	858	59.1	35.0	2.7	3.3
	80～84歳	567	58.7	32.5	3.9	4.9
	85～89歳	302	61.9	28.5	5.6	4.0
	90歳以上	163	64.4	19.6	11.7	4.3

## 問6.介護保険制度の認識度【経年比較】

- 要介護・要支援認定を受けている層及び認定を受けていない層とも、「知っている」が前回よりわずかに上昇するとともに、「まったく知らない」が前回より低下しており、介護保険制度の認識度はわずかに上昇している。

問6. あなたは、介護保険制度について知っていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

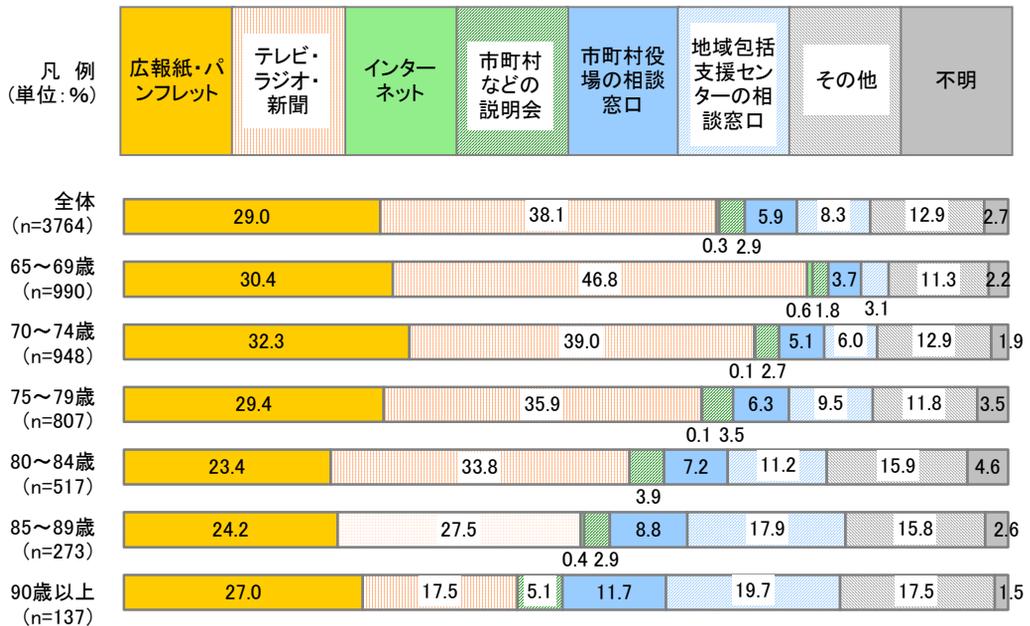


【要介護・要支援認定を受けていない】



## 問7.介護保険制度の認識方法

- 介護保険制度を知った方法は、「テレビ・ラジオ・新聞」が38.1%で最も多い。次いで、「広報誌・パンフレット」が29.0%である。
- 年齢別にみると、年齢が上がるごとに「テレビ・ラジオ・新聞」は比率が下がっており、「市町村役場の相談窓口」や「地域包括支援センターの相談窓口」の比率が高くなっている。
- 要介護度別みると、要介護・要支援認定を受けている層は、全体に比べて「市町村役場の相談窓口」「地域包括支援センターの相談窓口」が高い。



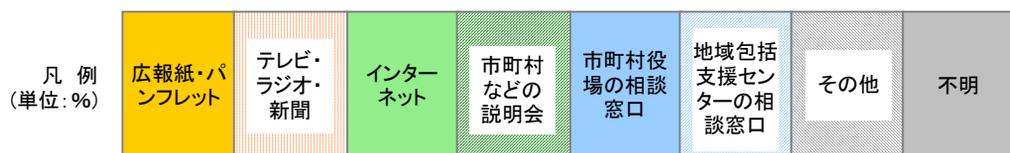
問7. あなたは、介護保険制度をどのようにして知りましたか。複数の方法でお知りになった場合には、最もわかりやすかったのはどれですか。【介護保険制度を知っている方】

		サンプル数	広報紙・パンフレット	テレビ・ラジオ・新聞	インターネット	市町村などの説明会	市町村役場の相談窓口	地域包括支援センターの相談窓口	その他	不明
全体		3764	29.0	38.1	0.3	2.9	5.9	8.3	12.9	2.7
年齢	65～69歳	990	30.4	46.8	0.6	1.8	3.7	3.1	11.3	2.2
	70～74歳	948	32.3	39.0	0.1	2.7	5.1	6.0	12.9	1.9
	75～79歳	807	29.4	35.9	0.1	3.5	6.3	9.5	11.8	3.5
	80～84歳	517	23.4	33.8	-	3.9	7.2	11.2	15.9	4.6
	85～89歳	273	24.2	27.5	0.4	2.9	8.8	17.9	15.8	2.6
	90歳以上	137	27.0	17.5	-	5.1	11.7	19.7	17.5	1.5
要介護度	要支援1	255	13.3	16.5	-	3.5	14.5	29.4	18.0	4.7
	要支援2	190	18.9	17.9	-	3.2	5.3	34.7	17.9	2.1
	要介護1	111	21.6	26.1	-	0.9	11.7	17.1	19.8	2.7
	要介護2	113	15.9	24.8	-	3.5	14.2	18.6	22.1	0.9
	要介護3	76	22.4	18.4	-	5.3	23.7	14.5	15.8	-
	要介護4	64	23.4	21.9	-	3.1	10.9	17.2	20.3	3.1
	要介護5	59	16.9	27.1	-	6.8	16.9	13.6	15.3	3.4
	要介護・要支援認定を受けていない	1743	32.8	43.1	0.5	2.8	3.3	3.6	12.1	1.9

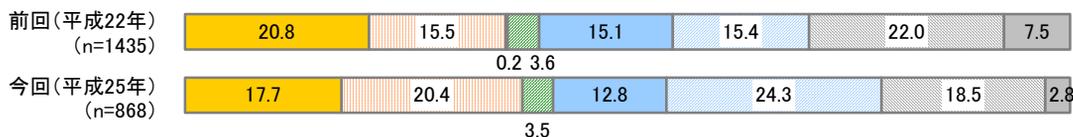
## 問7.介護保険制度の認識方法【経年比較】

- 要介護・要支援認定を受けている層は、「地域包括支援センターの相談窓口」が、前回の15.4%から今回の24.3%へと大きく上昇している。「テレビ・ラジオ・新聞」も、前回の15.5%から今回の20.4%へ上昇。
- 要介護・要支援認定を受けていない層は、「テレビ・ラジオ・新聞」が、前回の31.3%から今回の43.1%へ大きく上昇。
- 「広報誌・パンフレット」は、いずれの層でも低下している。

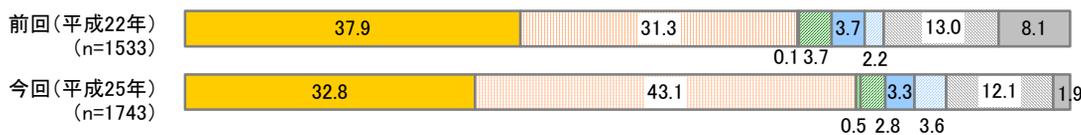
問7. あなたは、介護保険制度をどのようにして知りましたか。複数の方法でお知りになった場合には、最もわかりやすかったのはどれですか。【介護保険制度を知っている方】



【要介護・要支援認定を受けている】



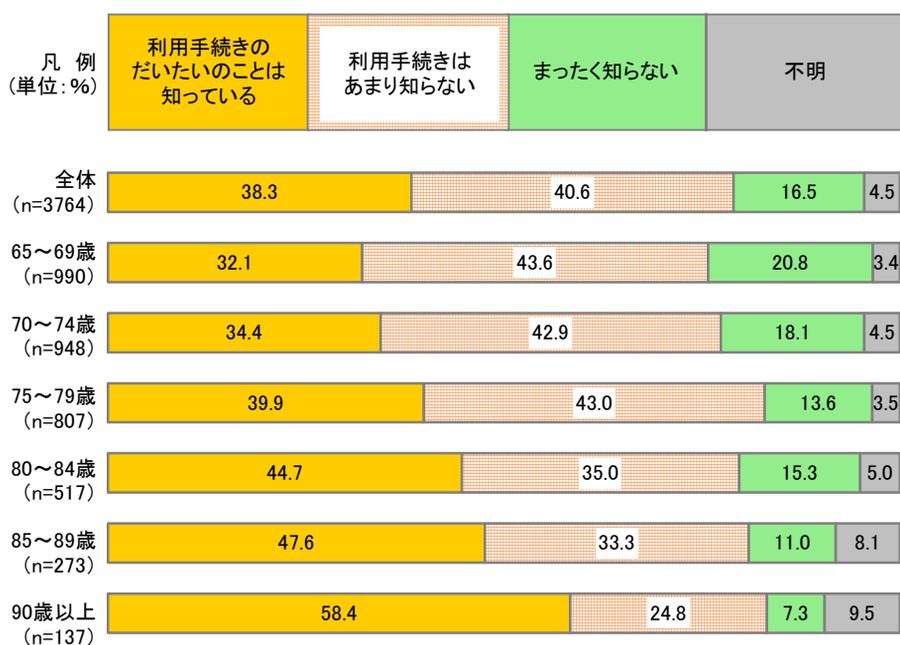
【要介護・要支援認定を受けていない】



※「テレビ・ラジオ・新聞」は、前回は「テレビ・ラジオ」で聴取

## 問8.介護保険制度の利用手続きの認識度

- 介護保険サービスの利用手続きについては、「あまり知らない」が最も多く、40.6%。「だいたい知っている」が次に多く、38.3%であった。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど認識度が高くなっており、「知っている」は65～69歳で32.1%、90歳以上では58.4%になっている。
- 要介護度別にみると、認定を受けていない層では「知っている」は32.5%だが、認定を受けている層ではいずれも半数以上あり、5割強～7割弱の認識度となっている。

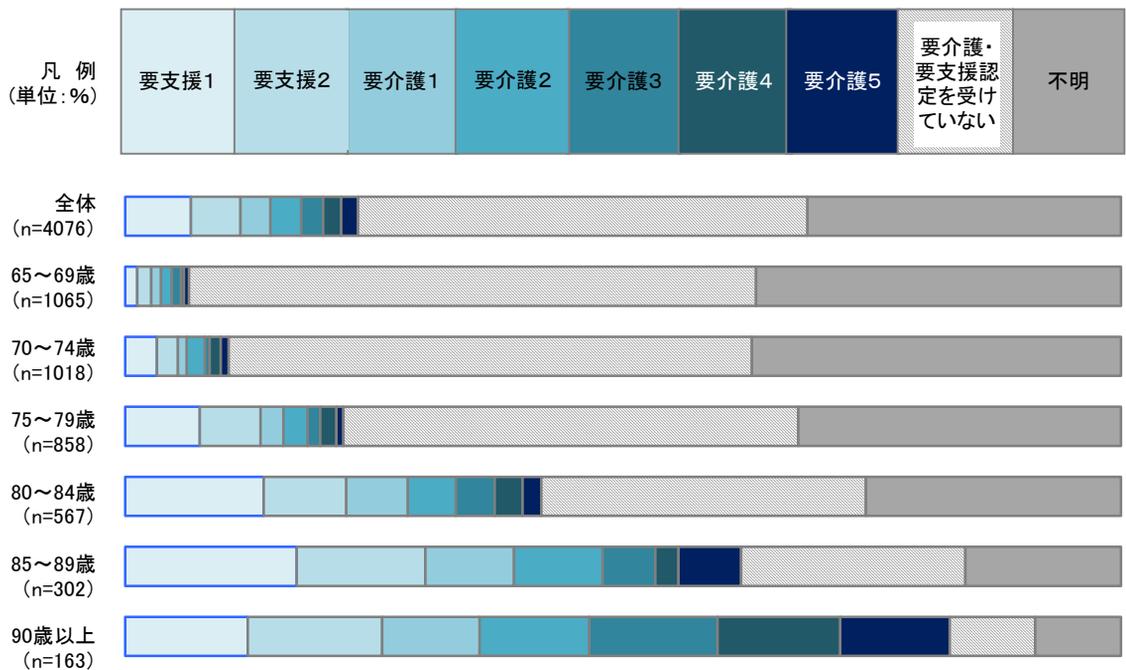


問8. あなたは、介護保険サービスの利用手続きを知っていますか。【介護保険制度を知っている方】

		サンプル数	知っている の 手続き は の 知 り たい	利用 する 手 続 き は あ ま り 知 ら な い	ま っ た く 知 ら な い	不 明
全体		3764	38.3	40.6	16.5	4.5
年齢	65～69歳	990	32.1	43.6	20.8	3.4
	70～74歳	948	34.4	42.9	18.1	4.5
	75～79歳	807	39.9	43.0	13.6	3.5
	80～84歳	517	44.7	35.0	15.3	5.0
	85～89歳	273	47.6	33.3	11.0	8.1
	90歳以上	137	58.4	24.8	7.3	9.5
	要介護度	要支援1	255	67.1	22.7	3.1
要支援2		190	63.7	22.1	6.3	7.9
要介護1		111	55.9	27.0	9.9	7.2
要介護2		113	62.8	22.1	5.3	9.7
要介護3		76	65.8	19.7	3.9	10.5
要介護4		64	53.1	32.8	7.8	6.3
要介護5		59	57.6	23.7	5.1	13.6
要介護・要支援認定を受けていない		1743	32.5	45.5	19.0	3.0

## 問9.要介護(要支援)認定の有無

- 要介護・要支援認定をみると、いずれかの認定を受けている人は、全体の23.3%。受けていない人は45.2%。「不明」が31.5%である。
- 年齢別にみると、認定を受けている人は、65～69歳では6.4%にとどまっているが、年齢が上がるとともに増えていき、90歳以上では82.8%となっている。「不明」は年齢が低い層に多い。
- 世帯構成でみると、認定を受けているのは、子どもと同居(全員が65歳以上)39.3%、一人暮らし33.6%と多くなっている。

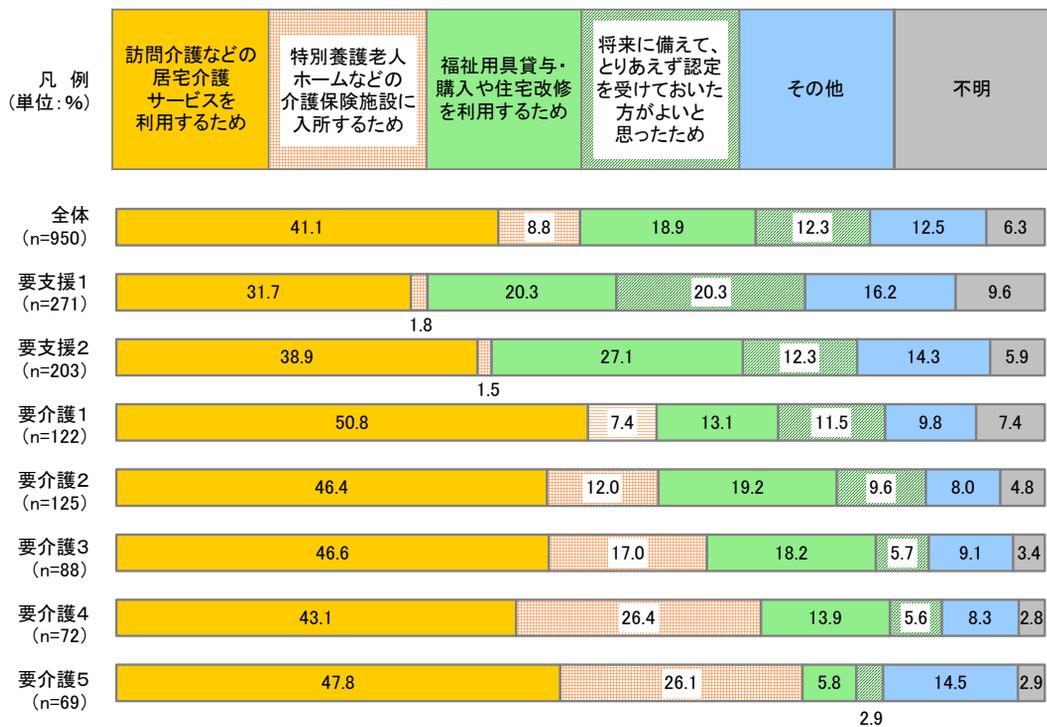


## 問9. あなたは、介護保険制度の要介護・要支援認定を受けていますか。

		サンプル数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護・要支援認定を受けた(小計)	要介護・要支援認定を受けていない	不明
全体		4076	6.6	5.0	3.0	3.1	2.2	1.8	1.7	23.3	45.2	31.5
年齢	65～69歳	1065	1.2	1.4	1.0	1.1	0.9	0.3	0.5	6.5	56.9	36.6
	70～74歳	1018	3.2	2.1	0.9	1.8	0.5	1.1	0.8	10.3	52.6	37.1
	75～79歳	858	7.5	6.1	2.3	2.4	1.3	1.6	0.7	21.9	45.7	32.4
	80～84歳	567	13.9	8.3	6.2	4.8	3.9	2.8	1.9	41.8	32.6	25.6
	85～89歳	302	17.2	12.9	8.9	8.9	5.3	2.3	6.3	61.9	22.5	15.6
	90歳以上	163	12.3	13.5	9.8	11.0	12.9	12.3	11.0	82.8	8.6	8.6
世帯構成	一人暮らし	766	13.8	8.2	3.9	3.4	2.1	0.7	1.4	33.6	36.4	30.0
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	5.0	4.0	1.6	2.0	1.4	1.4	0.5	15.7	52.1	32.2
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	1.1	1.6	2.2	-	0.5	-	0.5	5.9	57.8	36.2
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	5.7	6.6	4.1	8.2	4.9	4.9	4.9	39.3	27.9	32.8
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	5.3	4.1	3.8	3.8	2.0	1.6	1.7	22.3	46.2	31.5
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	3.3	3.3	-	4.9	3.3	-	-	14.8	52.5	32.8
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	2.4	4.9	-	4.9	4.9	4.9	-	22.0	46.3	31.7
	施設に入所	94	6.4	5.3	11.7	10.6	11.7	21.3	23.4	90.4	4.3	5.3

問10.要介護(要支援)認定を受けた理由

- 要介護・要支援認定を受けた理由は、「訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため」が41.1%で最も多い。次いで、「福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため」が18.9%、「将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため」が12.3%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所するため」が8.8%である。
- 要介護度別にみると、要支援では、全体に比べて「福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため」「将来に備えて」が高いが、要介護では「居宅介護サービスを利用するため」が多く、また要介護4～5では「介護保険施設に入所するため」が高い。



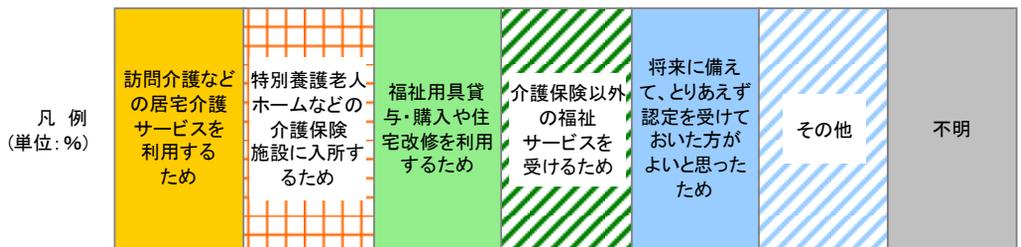
問10. あなたが、要介護・要支援認定を受けられたのは、どのような理由からですか。【要介護・要支援認定を受けている方】

	サンプル数	訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため	特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所するため	福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため	将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため	その他	不明	
全体	950	41.1	8.8	18.9	12.3	12.5	6.3	
要介護度	要支援1	271	31.7	1.8	20.3	20.3	16.2	9.6
	要支援2	203	38.9	1.5	27.1	12.3	14.3	5.9
	要介護1	122	50.8	7.4	13.1	11.5	9.8	7.4
	要介護2	125	46.4	12.0	19.2	9.6	8.0	4.8
	要介護3	88	46.6	17.0	18.2	5.7	9.1	3.4
	要介護4	72	43.1	26.4	13.9	5.6	8.3	2.8
	要介護5	69	47.8	26.1	5.8	2.9	14.5	2.9
要介護・要支援認定を受けていない	0	-	-	-	-	-	-	

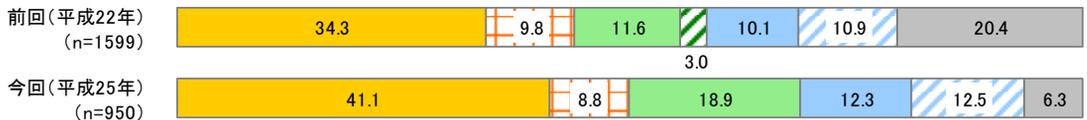
## 問10.要介護(要支援)認定を受けた理由【経年比較】

- 前回と比較すると、「訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため」「福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため」「将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため」が上昇している。「不明」が大きく低下したことも影響していると思われる。

問10. あなたが、要介護・要支援認定を受けられたのは、どのような理由からですか。【要介護・要支援認定を受けている方】



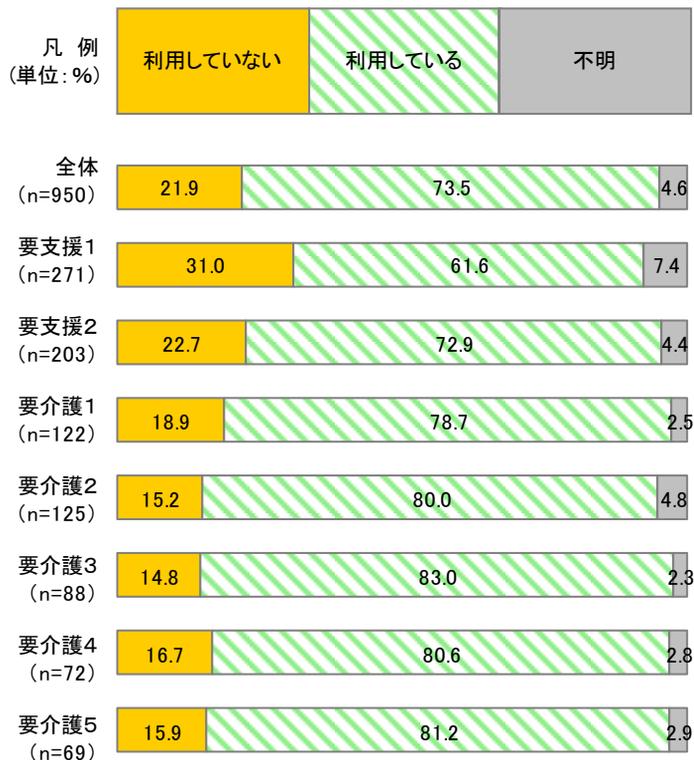
【要介護・要支援認定を受けている】



※「介護保険以外の福祉サービスを受けるため」は今回は聴取なし

## 問11.介護保険サービス利用の有無

- 要介護・要支援認定を受けている方で、介護保険サービスを利用しているのは73.5%。
- 要支援1では、利用率は61.6%と低めであるが、要介護では、利用率は約8割となっている。



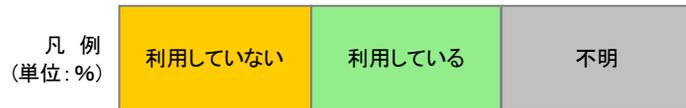
問11. あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。【要介護・要支援認定を受けている方】

		サンプル数	利用していない	利用している	不明
全体		950	21.9	73.5	4.6
要介護度	要支援1	271	31.0	61.6	7.4
	要支援2	203	22.7	72.9	4.4
	要介護1	122	18.9	78.7	2.5
	要介護2	125	15.2	80.0	4.8
	要介護3	88	14.8	83.0	2.3
	要介護4	72	16.7	80.6	2.8
	要介護5	69	15.9	81.2	2.9
	要介護・要支援認定を受けていない	0	-	-	-

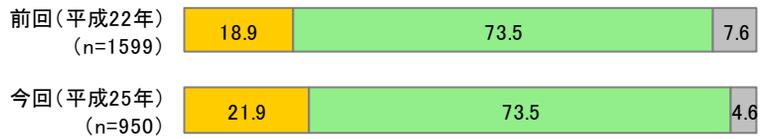
## 問11.介護保険サービス利用の有無【経年比較】

- 介護保険サービスの利用率は、前回・今回とも73.5%であった。

問11. あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。【要介護・要支援認定を受けている方】

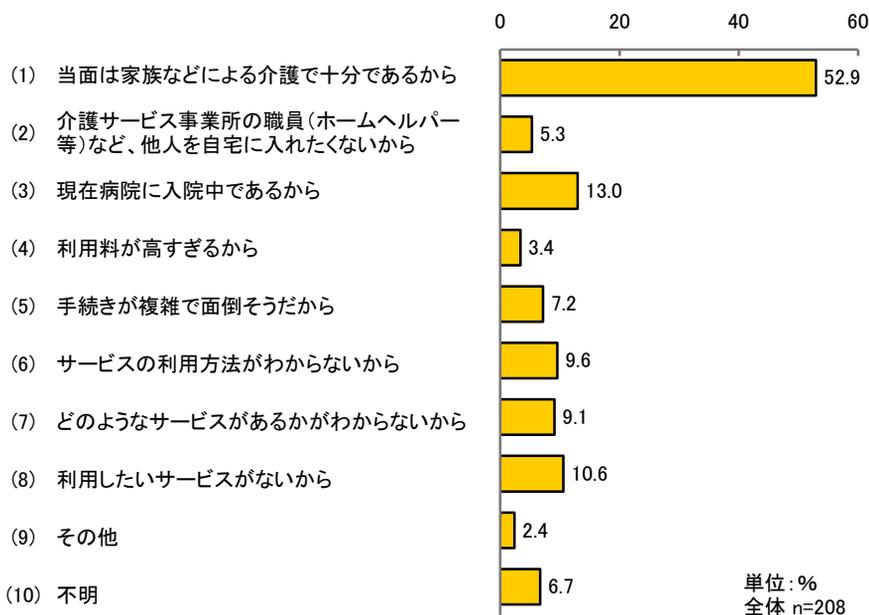


【要介護・要支援認定を受けている】



## 問12.介護保険サービスを利用していない理由

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「当面は家族などによる介護で十分であるから」が52.9%で高い。以下、「現在病院に入院中であるから」が13.0%、「利用したいサービスがないから」が10.6%が続いている。その他、「サービスの利用方法がわからないから」「どのようなサービスがあるかがわからないから」といった、認識不足による理由も各1割弱ある。



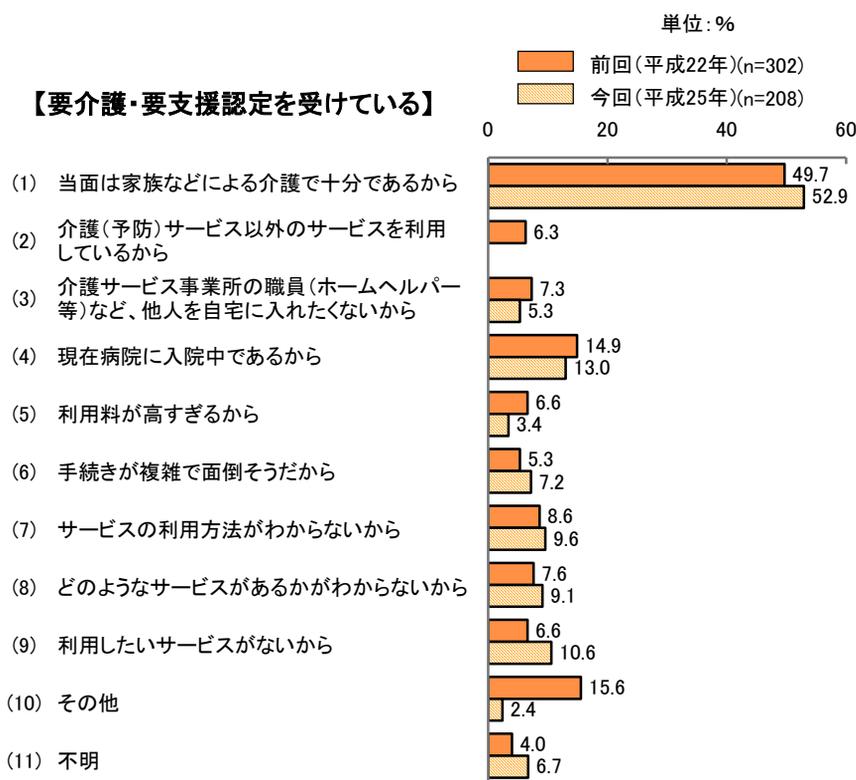
問12. あなたが、介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか。(複数回答)【介護保険サービスを利用していない方】

	サンプル数	当面は家族などによる介護で十分であるから	介護サービス事業所の職員(ホームヘルパー等)など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中であるから	利用料が高すぎるから	手続きが複雑で面倒そうだから	サービスの利用方法がわからないから	どのようなサービスがあるかがわからないから	利用したいサービスがないから	その他	不明
全体	208	52.9	5.3	13.0	3.4	7.2	9.6	9.1	10.6	2.4	6.7

問12.介護保険サービスを利用していない理由【経年比較】

- 介護保険サービスを利用していない理由を前回と比較すると、「当面は家族などによる介護で十分であるから」が約3ポイント、「利用したいサービスがないから」が約4ポイント上昇している。

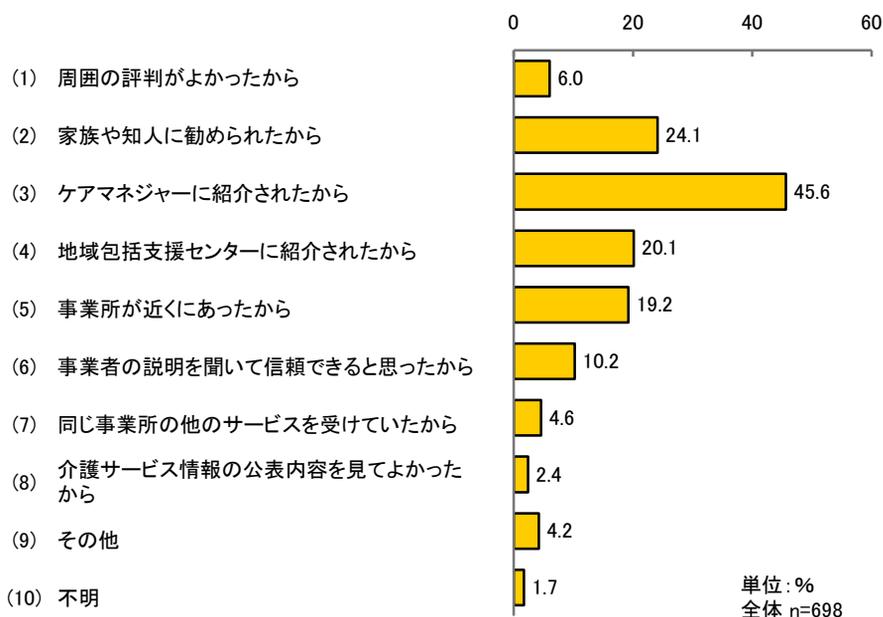
問12. あなたが、介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか。(複数回答)【介護保険サービスを利用していない方】



※「介護(予防)サービス以外のサービスを利用しているから」は、今回は聴取なし

問13.介護保険サービス事業者の選定基準

- 事業者の選択基準は、「ケアマネジャーに紹介されたから」が45.6%で最も多い。次いで、「家族や知人に勧められたから」が24.1%、「地域包括支援センターに紹介されたから」が20.1%、「事業所が近くにあったから」が19.2%の順に多い。
- 要介護度別にみると、いずれの層でも「ケアマネジャーに紹介されたから」が最も多いが、それ以外では「地域包括支援センターに紹介されたから」は要支援で高く、「事業所が近くにあったから」は要介護で高い傾向がある。



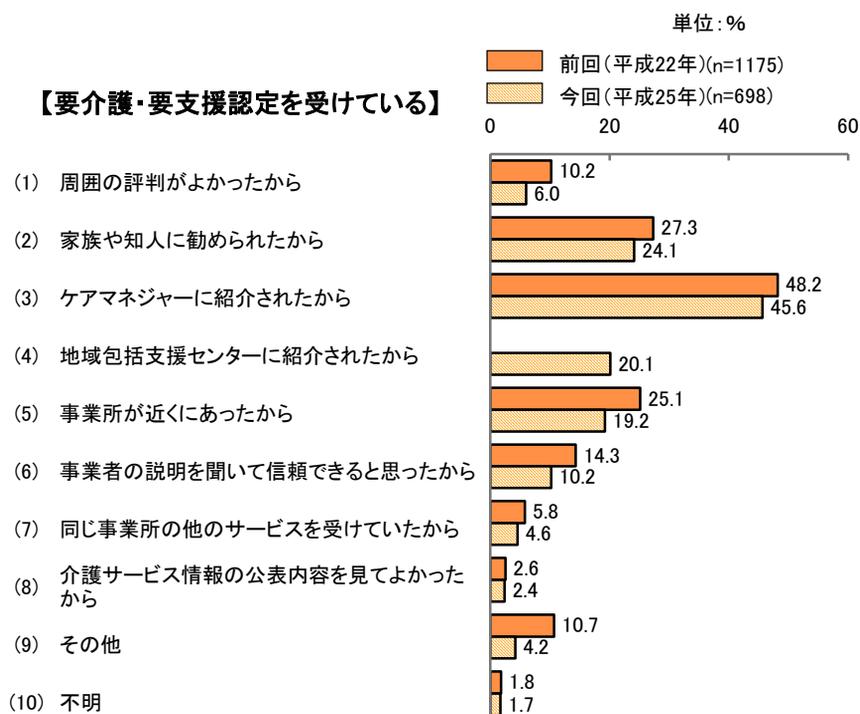
問13. あなたは、サービスを利用するに際して、事業者をどのような基準で選ばれましたか。(複数回答)【介護保険サービスを利用している方】

	サンプル数	周囲の評判がよかったから	家族や知人に勧められたから	ケアマネジャーに紹介されたから	地域包括支援センターに紹介されたから	事業所が近くにあったから	事業者の説明を聞いて信頼できると思ったから	同じ事業所の他のサービスを受けていたから	介護サービス情報の公表内容を見てよかったから	その他	不明	
全体	698	6.0	24.1	45.6	20.1	19.2	10.2	4.6	2.4	4.2	1.7	
要介護度	要支援1	167	4.2	21.0	36.5	31.1	12.6	8.4	3.0	3.6	2.4	4.2
	要支援2	148	5.4	23.0	43.2	31.1	10.1	10.8	3.4	2.7	3.4	1.4
	要介護1	96	6.3	25.0	42.7	16.7	22.9	11.5	8.3	3.1	6.3	-
	要介護2	100	7.0	25.0	58.0	12.0	26.0	7.0	5.0	1.0	1.0	-
	要介護3	73	11.0	34.2	49.3	8.2	24.7	9.6	2.7	-	6.8	2.7
	要介護4	58	6.9	22.4	58.6	6.9	29.3	13.8	5.2	3.4	6.9	-
	要介護5	56	3.6	21.4	42.9	7.1	26.8	14.3	7.1	1.8	7.1	1.8
	要介護・要支援認定を受けていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 問13.介護保険サービス事業者の選定基準【経年比較】

- 事業者の選択基準を前回と比較すると、「事業所が近くにあったから」が約6ポイント、「事業者の説明を聞いて信頼できると思ったから」が約4ポイント低下している。

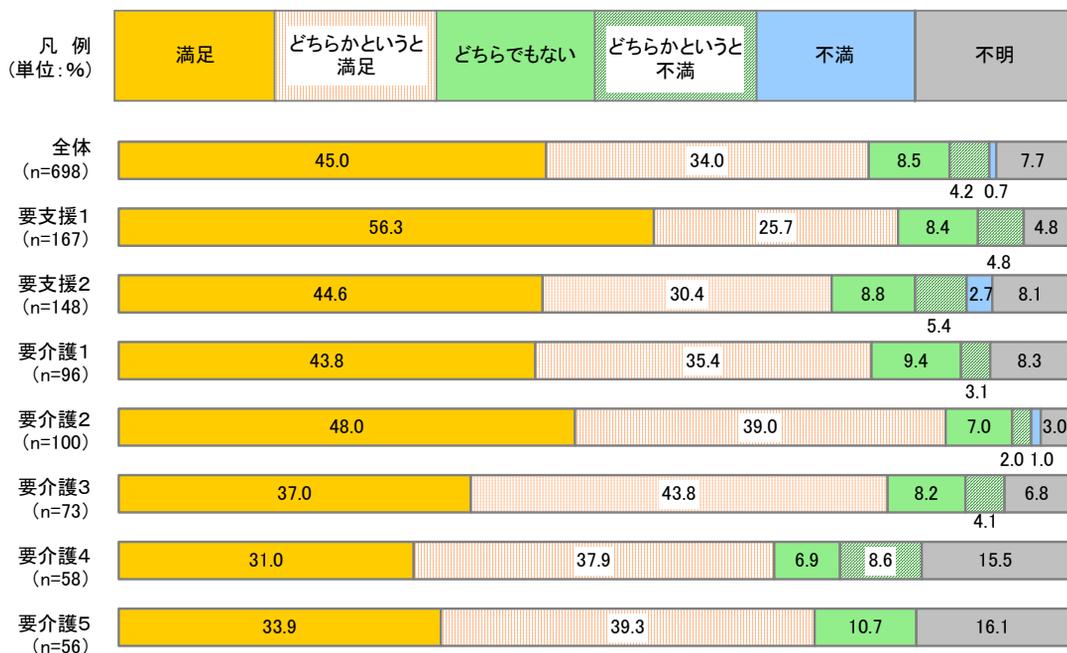
問13. あなたは、サービスを利用するに際して、事業者をどのような基準で選ばれましたか。(複数回答)【介護保険サービスを利用している方】



※「地域包括支援センターに紹介されたから」は、前回は聴取なし

## 問14.介護保険サービス利用者の満足度

- 介護保険サービスの利用満足度は、「満足」が45.0%、「どちらかという満足」が34.0%で、満足している人が多数を占める。
- 要介護度別にみると、すべての層で「満足」と「どちらかという満足」の合計が概ね7～8割である。
- 生活の安心度別にみると、安心度が高い層は、サービス内容満足度も高い。



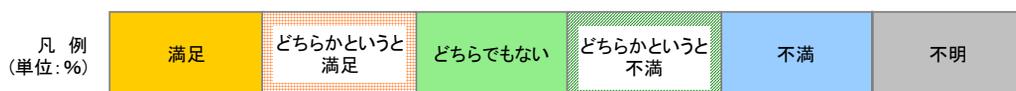
## 問14. あなたは、現在、利用しているサービスの内容に満足していますか。【介護保険サービスを利用している方】

		サンプル数	満足	どちらかという満足	どちらでもない	どちらかという不満	不満	不明
全体		698	45.0	34.0	8.5	4.2	0.7	7.7
要介護度	要支援1	167	56.3	25.7	8.4	4.8	-	4.8
	要支援2	148	44.6	30.4	8.8	5.4	2.7	8.1
	要介護1	96	43.8	35.4	9.4	3.1	-	8.3
	要介護2	100	48.0	39.0	7.0	2.0	1.0	3.0
	要介護3	73	37.0	43.8	8.2	4.1	-	6.8
	要介護4	58	31.0	37.9	6.9	8.6	-	15.5
	要介護5	56	33.9	39.3	10.7	-	-	16.1
	要介護・要支援認定を受けていない	0	-	-	-	-	-	-
生活の安心	安心して暮らすことができる	195	57.9	24.6	3.6	3.6	1.5	8.7
	どちらかという安心して暮らすことができる	376	43.4	39.4	9.6	2.7	-	5.1
	どちらかという安心して暮らすことができない	70	20.0	40.0	14.3	14.3	1.4	10.0
	まったく安心して暮らすことができない	18	33.3	27.8	16.7	11.1	-	11.1

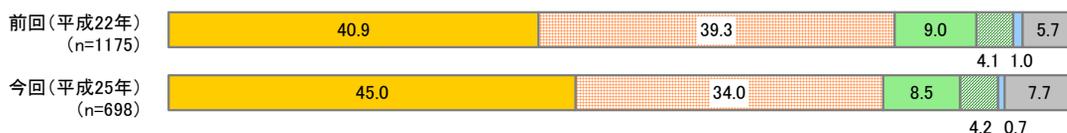
## 問14.介護保険サービス利用者の満足度【経年比較】

- 介護保険サービスの満足度を前回と比較すると、「満足」は前回の40.9%から今回の45.0%へ約4ポイント上昇しているが、「どちらかという満足」も合わせた満足度は、前回よりわずか(約1ポイント)に低下。なお、「不明」は2ポイント上昇。
- 「不満」と「どちらかという不満」の合計は4.9%で、前回の5.1%よりわずかに低下。

問14. あなたは、現在、利用しているサービスの内容に満足していますか。【介護保険サービスを利用している方】

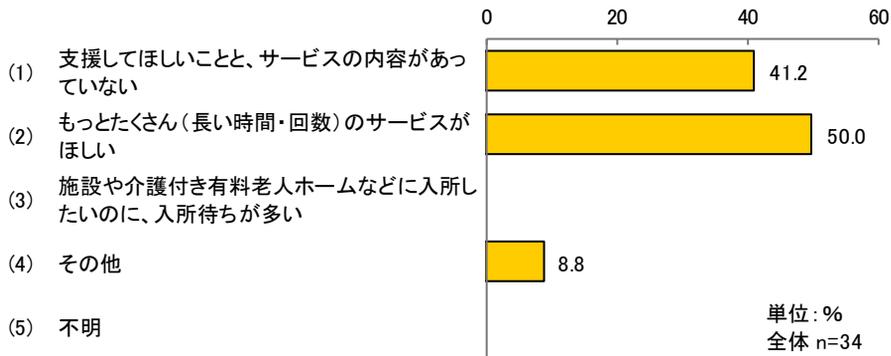


【要介護・要支援認定を受けている】



問15.介護保険サービスの不満な点

- 介護保険サービスの不満点は、「もっとたくさん(長い時間・回数)のサービスがほしい」が50.0%、「支援してほしいことと、サービスの内容があていない」が41.2%であった。

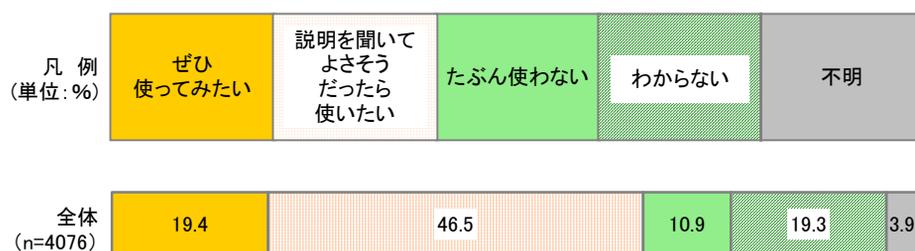


問15. サービスのどういう点が不満ですか。【介護保険サービスに不満のある方】

	サンプル数	支援してほしいことと、サービスの	もっとたくさん(長い時間・回数)	施設や介護付き有料老人ホームなど	その他	不明
全体	34	41.2	50.0	-	8.8	-

問16.24時間介護(看護)サービスの利用意向

- 居宅での24時間介護(看護)サービスの利用意向は、「ぜひ使ってみたい」が19.4%、「説明を聞いてよさそうだったら使いたい」が46.5%であった。「たぶん使わない」は10.9%。
- 年齢別にみると、「たぶん使わない」は85歳以上で2割弱と高めである。
- 世帯構成別で「ぜひ使ってみたい」が最も高いのは、子どもと同居(世帯全員が65歳以上)で、27.9%。
- 要介護度別では、認定を受けていない層で「説明を聞いてよさそうだったら使いたい」が、要介護で「たぶん使わない」が、全体より高くなっている。

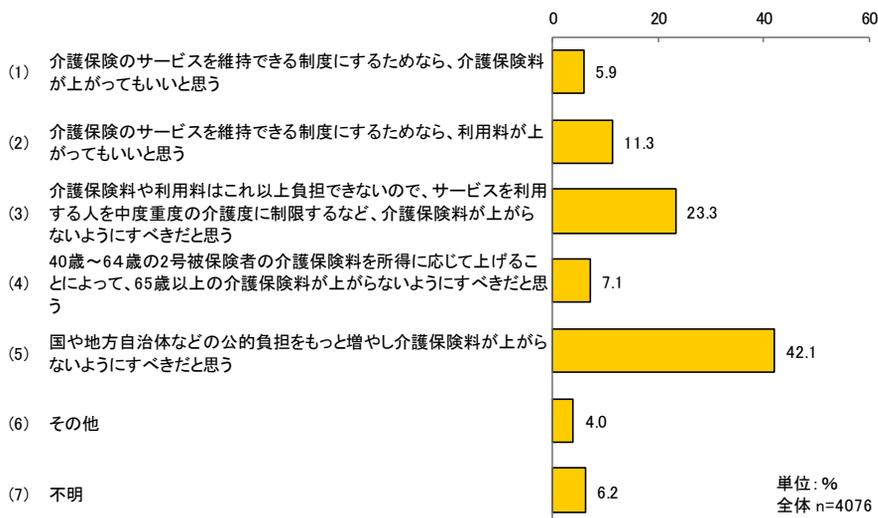


問16. あなたは(今、要介護状態でない方は、将来必要になれば)居宅での24時間介護(看護)サービスを使ってみたいと思いますか。

		サンプル数	ぜひ使ってみたい	説明を聞いてよさそうだったら使いたい	たぶん使わない	わからない	不明
全体		4076	19.4	46.5	10.9	19.3	3.9
年齢	65~69歳	1065	18.3	50.6	9.7	19.1	2.3
	70~74歳	1018	18.4	48.0	9.3	20.7	3.5
	75~79歳	858	21.6	47.8	8.9	17.8	4.0
	80~84歳	567	21.0	41.1	12.2	20.5	5.3
	85~89歳	302	18.9	39.7	17.9	17.9	5.6
	90歳以上	163	17.8	33.7	19.6	21.5	7.4
世帯構成	一人暮らし	766	23.1	40.3	9.8	21.5	5.2
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	18.4	51.7	8.9	18.2	2.7
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	18.9	48.1	11.9	17.8	3.2
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	27.9	36.9	13.1	14.8	7.4
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	17.5	47.3	12.2	19.2	3.9
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	21.3	44.3	11.5	21.3	1.6
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	22.0	43.9	22.0	12.2	-
施設に入所	94	18.1	14.9	33.0	23.4	10.6	
要介護度	要支援1	271	26.9	38.4	9.2	18.5	7.0
	要支援2	203	24.1	42.9	10.3	16.3	6.4
	要介護1	122	17.2	35.2	23.0	22.1	2.5
	要介護2	125	16.0	36.8	20.8	17.6	8.8
	要介護3	88	23.9	29.5	18.2	22.7	5.7
	要介護4	72	25.0	31.9	20.8	13.9	8.3
	要介護5	69	20.3	26.1	18.8	27.5	7.2
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	18.2	52.0	10.3	18.0	1.5

問17.負担と給付の関係

- 負担と給付についての考えをみると、「国や地方自治体などの公的負担をもっと増やし、介護保険料が上がらないようにすべきだと思う」が42.1%で最も高い。続いて、「介護保険料や利用料はこれ以上負担できないので、サービスを利用する人を中度重度の介護度に制限するなど、介護保険料が上がらないようにすべきだと思う」が23.3%となっている。
- 要介護度別では、要介護度2～3で「サービスを利用する人を中度重度の介護度に制限すべき」が高くなっている。

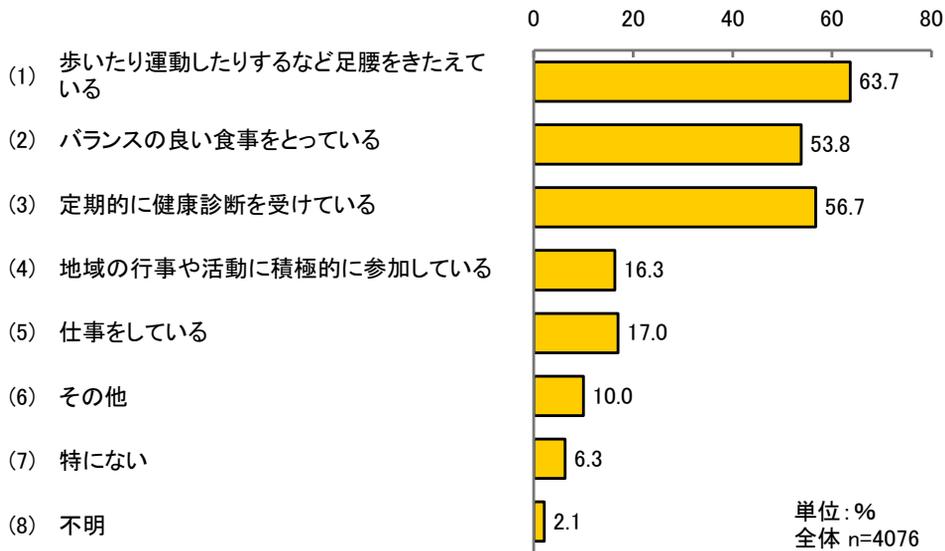


問17. あなたは、負担(介護保険料や利用料)と給付(介護サービス)について、どのように考えていますか。

	サンプル数	介護保険料や利用料はこれ以上負担できないので、サービスを利用する人を中度重度の介護度に制限するなど、介護保険料が上がらないようにすべきだと思う	国や地方自治体などの公的負担をもっと増やし介護保険料が上がらないようにすべきだと思う	その他	不明				
全体	4076	23.3	42.1	4.0	6.2				
年齢	65～69歳	1065	4.6	11.2	21.5	10.4	43.4	4.9	4.0
	70～74歳	1018	4.6	9.9	25.0	7.0	43.9	4.2	5.3
	75～79歳	858	7.0	10.3	24.8	5.7	41.6	4.5	6.1
	80～84歳	567	6.5	12.0	25.4	4.1	41.4	2.5	8.1
	85～89歳	302	10.6	15.6	17.2	5.3	41.7	2.6	7.0
	90歳以上	163	8.6	13.5	20.2	4.9	33.1	3.7	16.0
要介護度	要支援1	271	11.1	12.5	16.2	5.2	42.4	3.0	9.6
	要支援2	203	8.4	15.8	17.2	6.4	43.8	1.5	6.9
	要介護1	122	10.7	12.3	23.0	9.0	36.9	3.3	4.9
	要介護2	125	7.2	12.8	30.4	7.2	36.0	4.0	2.4
	要介護3	88	6.8	10.2	30.7	3.4	40.9	1.1	6.8
	要介護4	72	5.6	5.6	25.0	6.9	41.7	5.6	9.7
	要介護5	69	8.7	13.0	18.8	5.8	42.0	4.3	7.2
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	4.9	12.2	23.8	6.9	43.8	4.8	3.7

問18.病気の予防や健康作りで心がけていること

- 病気の予防や健康づくりのために心がけていることは、「歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている」(63.7%)、「定期的に健康診断を受けている」(56.7%)、「バランスの良い食事をとっている」(53.8%)の順となっている。
- 年齢別にみると、年齢が低いほど「仕事をしている」が高く、年齢が高いほど「特にない」が高い。
- 世帯構成別にみると、夫婦二人暮らし層で「歩いたり運動したりするなど、足腰をきたえている」が特に高い。

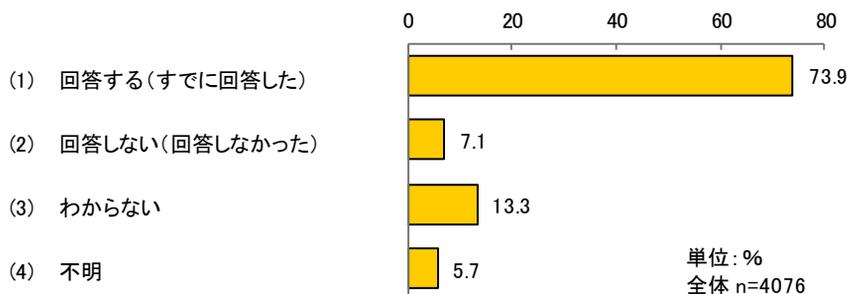


問18. あなたは、病気の予防や健康づくりのために、どういったことを心がけていますか。(複数回答)

		サンプル数	ど歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている	てバランスの良い食事をとっている	定期的に健康診断を受けている	に地域の行事や活動に積極的に参加している	仕事をしている	その他	特にない	不明
全体		4076	63.7	53.8	56.7	16.3	17.0	10.0	6.3	2.1
年齢	65~69歳	1065	64.2	52.0	53.3	14.2	29.1	8.9	5.6	0.8
	70~74歳	1018	66.9	55.3	58.3	20.6	20.9	10.6	4.9	1.7
	75~79歳	858	69.6	56.2	62.6	19.3	10.5	11.4	4.3	1.9
	80~84歳	567	60.0	54.5	59.1	13.9	8.8	9.5	7.2	3.0
	85~89歳	302	53.3	50.3	53.3	9.3	5.0	8.3	10.6	3.3
	90歳以上	163	39.3	46.6	43.6	6.7	0.6	8.6	17.8	7.4
世帯構成	一人暮らし	766	62.9	51.6	55.2	13.7	11.5	11.0	6.4	2.2
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	68.8	60.5	60.3	18.5	17.2	9.5	4.7	1.2
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	69.7	50.8	56.8	10.3	26.5	8.6	4.9	-
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	53.3	42.6	54.1	8.2	10.7	9.8	5.7	3.3
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	60.2	48.9	55.0	17.6	20.7	10.3	7.2	2.6
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	47.5	54.1	63.9	14.8	23.0	9.8	8.2	1.6
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	65.9	73.2	56.1	22.0	22.0	14.6	9.8	-
	施設に入所	94	44.7	43.6	41.5	7.4	3.2	6.4	20.2	9.6

問19-1.市町村からの質問票への回答の有無

- 市町村から質問票が送られてきた場合の回答意向は、「回答する(すでに回答した)」が圧倒的に高く、73.9%にのぼる。
- 年齢別にみると、79歳以下では75%前後の回答意向があるが、80歳以上になると回答意向が下がってくる傾向にあり、90歳以上では回答意向は62.6%である。

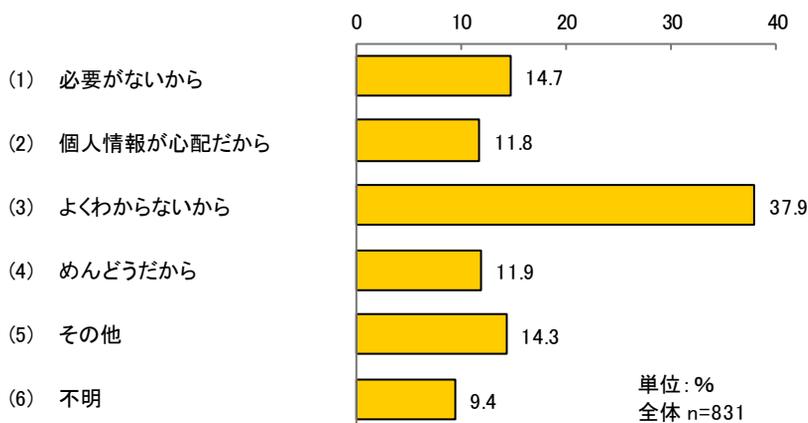


問19-1. 市町村等から、日常生活の様子や体の調子などをお聞きする[質問票]が送られてきた場合、あなたは回答しますか。

		サンプル数	回答する(すでに回答した)	回答しない(回答しなかった)	わからない	不明
全体		4076	73.9	7.1	13.3	5.7
年齢	65～69歳	1065	74.0	7.7	14.4	3.9
	70～74歳	1018	77.3	7.8	10.1	4.8
	75～79歳	858	76.5	6.1	11.4	6.1
	80～84歳	567	71.8	5.5	15.7	7.1
	85～89歳	302	68.5	8.6	15.6	7.3
	90歳以上	163	62.6	6.7	22.1	8.6

問19-2.市町村からの質問票に回答しない理由

- 質問票に回答しない理由は、「よくわからないから」が37.9%で特に高い。
- 年齢別にみると、85～89歳で特に「よくわからないから」が高く、53.4%を占めている。「必要がないから」は84歳以下で、「個人情報が心配だから」は74歳以下で高めである。

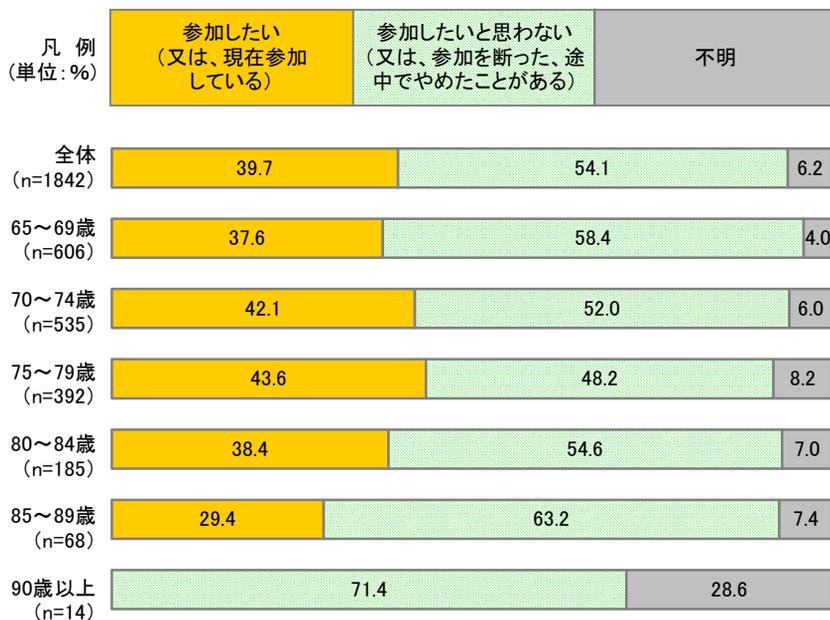


問19-2. 質問票に回答しない理由をお答えください。【質問票に回答しない方、わからない方】

		サンプル数	必要がないから	個人情報が心配だから	よくわからないから	めんどうだから	その他	不明
全体		831	14.7	11.8	37.9	11.9	14.3	9.4
年齢	65～69歳	235	14.9	16.6	31.5	11.9	15.7	9.4
	70～74歳	182	18.1	12.1	31.9	14.8	12.6	10.4
	75～79歳	150	16.0	8.7	44.0	8.0	10.0	13.3
	80～84歳	120	17.5	6.7	39.2	14.2	17.5	5.0
	85～89歳	73	6.8	6.8	53.4	8.2	19.2	5.5
	90歳以上	47	4.3	12.8	46.8	12.8	14.9	8.5

問20-1.市町村の介護予防事業への参加意向

- 介護予防事業への参加意向は、「参加したいと思わない」(54.1%)が「参加したい」(39.7%)を上回った。
- 性別でみると、女性の方が「参加したい」が約4ポイント高い。
- 年齢別にみると、いずれの年代でも「参加したいと思わない」が優勢であるが、70歳代では「参加したい」が4割強と高めである。90歳以上では、「参加したい」は0%であった。

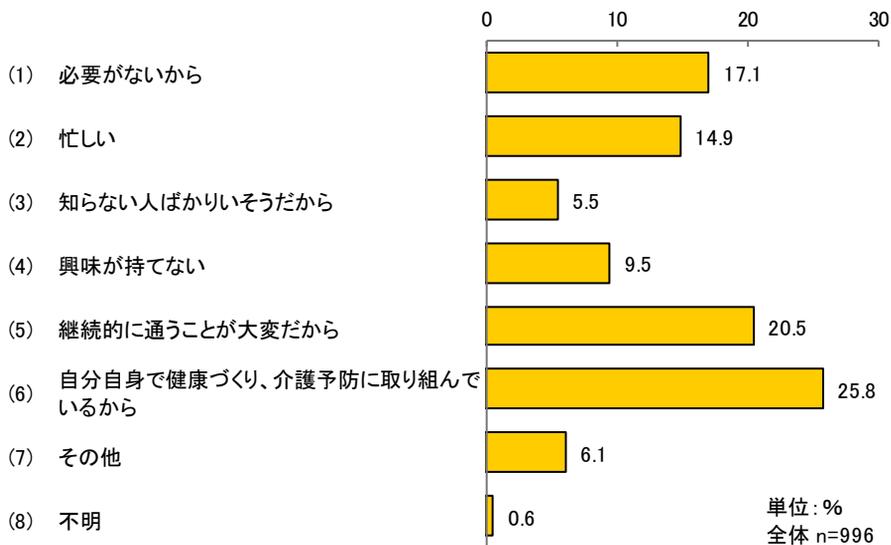


問20-1. あなたは、介護予防事業(運動機能向上、栄養改善向上等の教室)に参加したいと思いませんか。【要介護認定を受けていない方】

		サンプル数	参加したい (又は、現在参加している)	参加したいと思わない (又は、参加を断った、途中でやめたことがある)	不明
全体		1842	39.7	54.1	6.2
性別	男性	865	37.7	57.3	5.0
	女性	911	41.8	50.8	7.4
年齢	65~69歳	606	37.6	58.4	4.0
	70~74歳	535	42.1	52.0	6.0
	75~79歳	392	43.6	48.2	8.2
	80~84歳	185	38.4	54.6	7.0
	85~89歳	68	29.4	63.2	7.4
	90歳以上	14	-	71.4	28.6

問20-2.市町村の介護予防事業に参加しない理由

- 介護予防事業に参加しない理由は、「自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから」(25.8%)、「継続的に通うことが大変だから」(20.5%)、「必要がないから」(17.1%)、「忙しい」(14.9%)の順になっている。
- 年齢別にみると、「自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから」は、75～79歳と85～89歳で高い。また、「忙しい」は年齢が低いほど割合が高い傾向である。

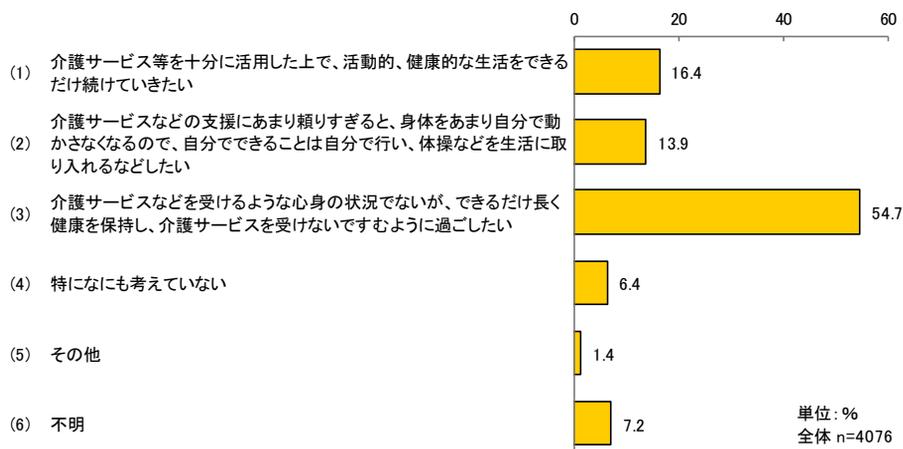


問20-2. 介護予防事業に参加しない理由をお答えください。【介護予防事業に参加したいと思わない方】

		サンプル数	必要がないから	忙しい	知らない人ばかりいそうだから	興味が持てない	継続的に通うことが大変だから	自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから	その他	不明
全体		996	17.1	14.9	5.5	9.5	20.5	25.8	6.1	0.6
年齢	65～69歳	354	18.6	17.8	3.7	11.0	18.4	24.3	5.6	0.6
	70～74歳	278	16.2	14.7	7.6	7.6	21.9	24.8	6.8	0.4
	75～79歳	189	13.8	13.8	4.8	7.4	21.7	31.2	6.9	0.5
	80～84歳	101	17.8	9.9	9.9	13.9	22.8	21.8	4.0	-
	85～89歳	43	20.9	7.0	4.7	11.6	11.6	30.2	11.6	2.3
	90歳以上	10	40.0	-	-	-	40.0	20.0	-	-

問21.介護予防に対する考え方

- 健康づくり・介護予防への考え方は、全体では「介護サービスを受けるような心身の状況ではないが、できるだけ長く健康を保持し、介護サービスを受けないですむように過ごしたい」が54.7%と多数を占めている。
- 年齢別にみると、年齢が上がるほど「介護サービスを受けないですむように過ごしたい」が減少し、「介護サービス等を十分に活用した上で、活動的、健康的な生活をできるだけ続けていきたい」が増加している。
- 要介護度別にみると、認定を受けていない層で「介護サービスを受けないですむように過ごしたい」が高く、要支援・要介護は「介護サービス等を十分に活用した上で、活動的、健康的な生活をできるだけ続けていきたい」が4～6割を占めて最も多くなっている。

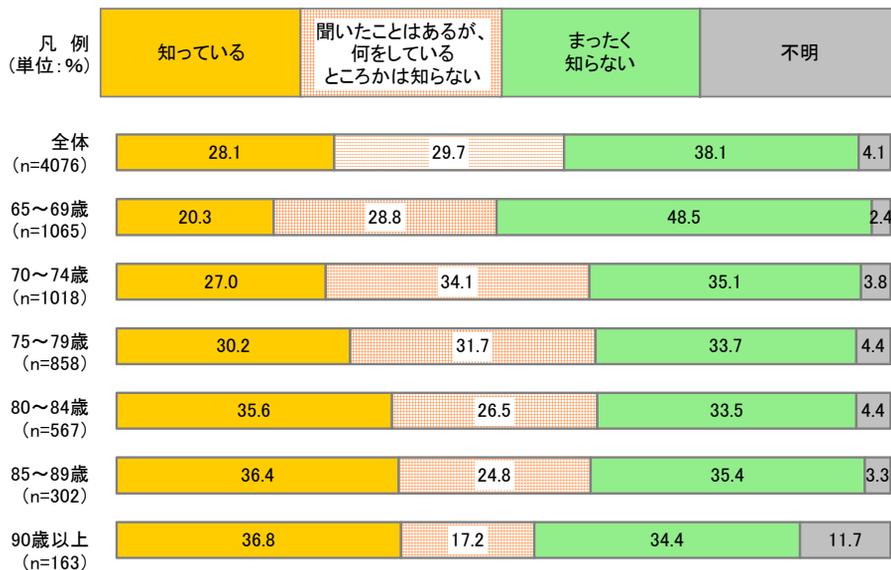


問21. あなたの健康づくり・介護予防に対する考え方をお答えください。

	サンプル数	16.4	13.9	54.7	6.4	1.4	7.2	
全体	4076	16.4	13.9	54.7	6.4	1.4	7.2	
年齢	65～69歳	1065	8.5	10.5	68.5	6.3	0.8	5.3
	70～74歳	1018	9.5	12.4	64.1	5.9	1.5	6.6
	75～79歳	858	18.8	14.8	52.4	5.2	0.9	7.8
	80～84歳	567	25.2	18.9	39.9	6.0	1.6	8.5
	85～89歳	302	32.8	16.6	32.1	9.6	2.3	6.6
	90歳以上	163	36.8	18.4	14.7	11.0	4.9	14.1
要介護度	要支援1	271	40.6	25.1	20.7	3.0	1.5	9.2
	要支援2	203	44.3	26.6	12.3	5.4	3.9	7.4
	要介護1	122	51.6	15.6	9.0	13.1	3.3	7.4
	要介護2	125	59.2	14.4	8.0	4.0	5.6	8.8
	要介護3	88	61.4	15.9	3.4	12.5	1.1	5.7
	要介護4	72	51.4	13.9	2.8	6.9	5.6	19.4
	要介護5	69	50.7	2.9	11.6	13.0	5.8	15.9
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	6.5	11.1	71.5	4.9	0.7	5.2

問22.地域包括支援センターの認識度

- 地域包括支援センターの認識は、「まったく知らない」が38.1%で最も多い。「知っている」は28.1%、「聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない」は29.7%である。
- 年齢別にみると、年齢が高いほど、「知っている」が高くなっている。
- 要介護度別にみると、要支援は6割弱が「知っている」としている。要介護は概ね4割弱が「知っている」と回答。認定を受けていない層が、最も認識度が低い。
- 認知症の認識別でみると、認知症の認識が高い層ほど、地域包括支援センターの認識度も高い。



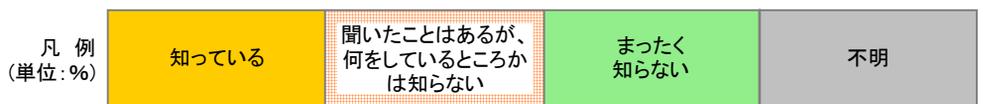
問22. あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない	まったく知らない	不明
全体		4076	28.1	29.7	38.1	4.1
年齢	65～69歳	1065	20.3	28.8	48.5	2.4
	70～74歳	1018	27.0	34.1	35.1	3.8
	75～79歳	858	30.2	31.7	33.7	4.4
	80～84歳	567	35.6	26.5	33.5	4.4
	85～89歳	302	36.4	24.8	35.4	3.3
	90歳以上	163	36.8	17.2	34.4	11.7
要介護度	要支援1	271	59.8	17.7	17.7	4.8
	要支援2	203	56.7	24.1	13.8	5.4
	要介護1	122	35.2	25.4	34.4	4.9
	要介護2	125	38.4	30.4	27.2	4.0
	要介護3	88	39.8	25.0	33.0	2.3
	要介護4	72	37.5	30.6	26.4	5.6
	要介護5	69	34.8	27.5	26.1	11.6
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	24.1	31.7	41.2	3.1
	認知症の認識					
よく知っている	1109	41.2	28.8	27.7	2.3	
知っている	2320	26.1	32.2	38.5	3.2	
言葉を聞いたことはあるが、あまり知らない	482	13.7	25.1	56.4	4.8	
まったく知らない	60	10.0	10.0	75.0	5.0	

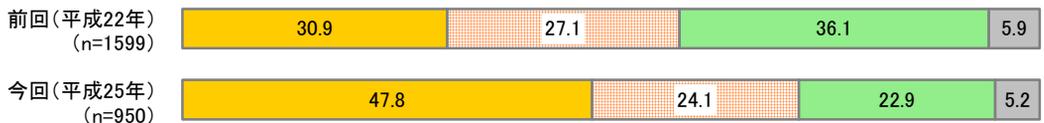
問22.地域包括支援センターの認識度【経年比較】

- 地域包括支援センターの認識度を前回と比較すると、要介護・要支援認定を受けている層・受けていない層とも、「知っている」が大きく上昇し、認識度が上がっている。（認定を受けている層は、前回30.9%から今回47.8%へ、認定を受けていない層は、前回11.6%から今回24.1%へ上昇。）

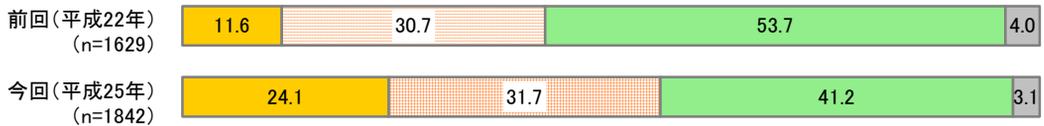
問22. あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

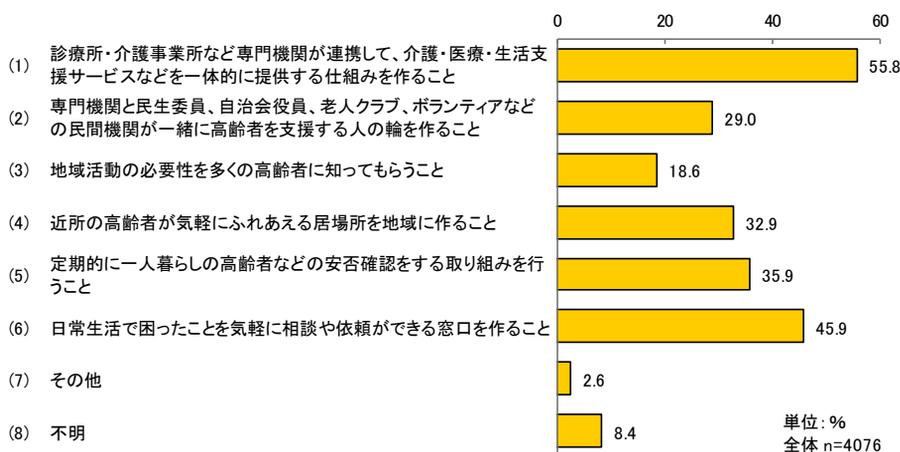


【要介護・要支援認定を受けていない】



問23.地域のネットワークづくりに必要なこと

- 介護の必要な高齢者が地域で暮らしやすくするためのネットワークづくりに大切だと思うことは、「診療所・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」(55.8%)、「日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること」(45.9%)、「定期的な一人暮らしの高齢者などの安否確認をする取り組みを行うこと」(35.9%)、「近所の高齢者が気軽にふれあえる居場所を地域に作ること」(32.9%)の順であった。
- 要介護度別にみると、「診療所・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」は、要支援2、要介護2～5で特に高くなっている。
- また、認知症の認識が高い層も、「診療所・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること」の比率が高い。

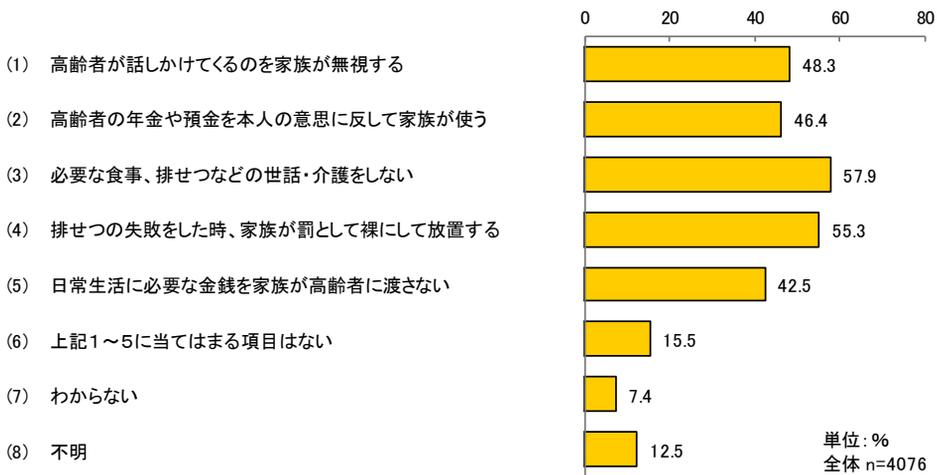


問23. あなたは、介護の必要な高齢者が地域で暮らしやすくするためのネットワークを作るために何が大切だと思いますか。(複数回答)

	サンプル数	診療所・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること	専門機関と民生委員、自治会役員、ボランティアなどの民間機関と一緒に高齢者を支援する人の輪を作ること	地域活動の必要性を多くの高齢者に知ってもらうこと	近所の高齢者が気軽にふれあえる居場所を地域に作ること	定期的な一人暮らしの高齢者などの安否確認をする取り組みを行うこと	日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること	その他	不明	
全体	4076	55.8	29.0	18.6	32.9	35.9	45.9	2.6	8.4	
要介護度	要支援1	271	53.5	28.0	16.6	37.3	35.8	39.5	3.0	9.6
	要支援2	203	63.5	28.6	20.2	29.6	36.0	40.4	4.4	6.9
	要介護1	122	51.6	23.8	12.3	27.9	36.1	41.8	7.4	9.8
	要介護2	125	60.8	26.4	12.0	23.2	40.8	42.4	4.8	11.2
	要介護3	88	68.2	33.0	8.0	28.4	30.7	38.6	3.4	8.0
	要介護4	72	63.9	23.6	13.9	23.6	29.2	52.8	1.4	15.3
	要介護5	69	60.9	33.3	17.4	30.4	42.0	43.5	1.4	11.6
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	56.8	32.1	19.9	34.4	39.2	48.3	2.4	6.4
認知症の認識	よく知っている	1109	61.0	31.5	19.2	33.5	36.9	42.2	3.1	5.2
	知っている	2320	56.9	29.5	19.4	33.7	37.3	49.2	2.3	6.5
	言葉を聞いたことはあるが、あまり知らない	482	48.1	24.3	17.6	32.0	33.4	45.6	2.9	11.6
	まったく知らない	60	26.7	20.0	5.0	25.0	26.7	35.0	8.3	31.7

問24.高齢者虐待に当てはまると思うもの

- 高齢者虐待に当てはまると思うものは、「必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない」(57.9%)、「排せつの失敗をした時、家族が罰として裸にして放置する」(55.3%)が上位である。
- 年齢別にみると、65～69歳では各項目のポイントが高いが、80歳以上では、「上記1～5に当てはまる項目はない」が全体に比べて高くなっている。
- 要介護度別では、要介護5で、金銭関係以外の項目のポイントが高く、認定を受けていない層では、いずれの項目もポイントが高い。要支援では、「当てはまる項目はない」が高くなっている。
- 認知症の認識別にみると、認識が低い層ほど、「わからない」が増える傾向がある。



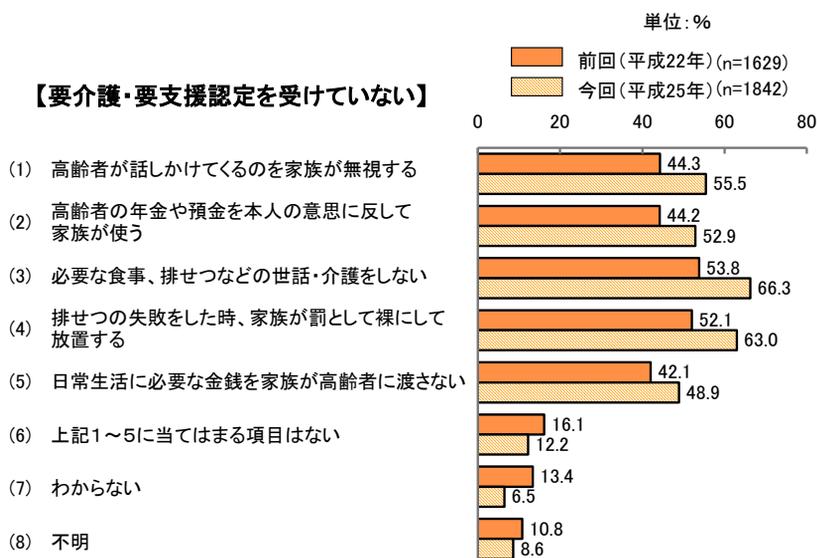
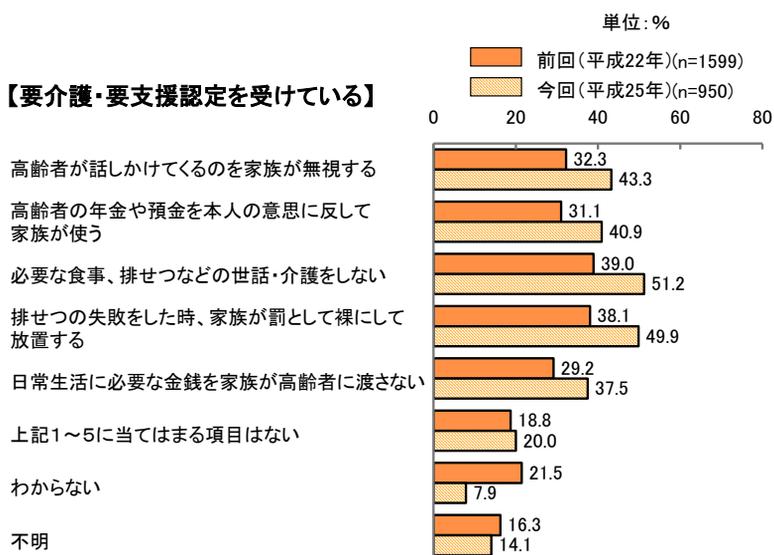
問24. 次のうち、あなたが高齢者虐待に当てはまると思うものをお答えください。(複数回答)

	サンプル数	高齢者が話しかけてくるのを家族が無視する	高齢者の年金や預金を本人の意思に反して家族が使う	必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない	排せつの失敗をした時、裸にして放置する	日常生活に必要な金銭を家族に渡さない	上記1～5に当てはまる項目はない	わからない	不明	
全体	4076	48.3	46.4	57.9	55.3	42.5	15.5	7.4	12.5	
年齢	65～69歳	1065	57.8	55.0	70.9	68.6	51.5	8.5	7.6	6.1
	70～74歳	1018	49.9	47.7	60.1	57.5	43.2	13.3	7.8	11.8
	75～79歳	858	43.9	42.5	51.5	50.2	39.2	18.6	7.9	15.2
	80～84歳	577	42.5	41.8	48.0	45.9	36.3	20.5	5.1	17.5
	85～89歳	302	39.4	37.7	50.3	42.1	35.4	25.2	7.6	14.2
	90歳以上	163	35.0	38.0	45.4	45.4	33.1	22.7	6.7	21.5
要介護度	要支援1	271	38.7	35.4	43.9	41.3	35.8	24.4	6.6	19.6
	要支援2	203	42.4	41.9	46.3	48.8	35.5	21.7	8.4	14.3
	要介護1	122	42.6	44.3	55.7	49.2	33.6	18.0	11.5	9.8
	要介護2	125	47.2	45.6	53.6	58.4	40.8	16.8	6.4	12.8
	要介護3	88	40.9	38.6	55.7	54.5	37.5	19.3	12.5	6.8
	要介護4	72	47.2	43.1	58.3	54.2	43.1	18.1	4.2	13.9
	要介護5	69	56.5	46.4	68.1	62.3	44.9	10.1	5.8	11.6
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	55.5	52.9	66.3	63.0	48.9	12.2	6.5	8.6
	よく知っている	1109	51.8	50.3	62.6	59.1	44.8	16.5	4.5	10.0
認知症の認識	知っている	2320	51.4	48.8	61.2	59.3	45.3	14.5	6.8	10.5
	言葉を聞いたことはあるが、あまり知らない	482	35.1	36.5	43.4	39.6	33.0	17.8	15.4	16.0
	まったく知らない	60	18.3	13.3	25.0	20.0	13.3	20.0	23.3	30.0

問24.高齢者虐待に当てはまると思うもの【経年比較】

- 前回と比較すると、要介護・要支援認定を受けている層・受けていない層とも、「当てはまる項目はない」「わからない」以外の項目が、いずれも10ポイント前後上昇している。

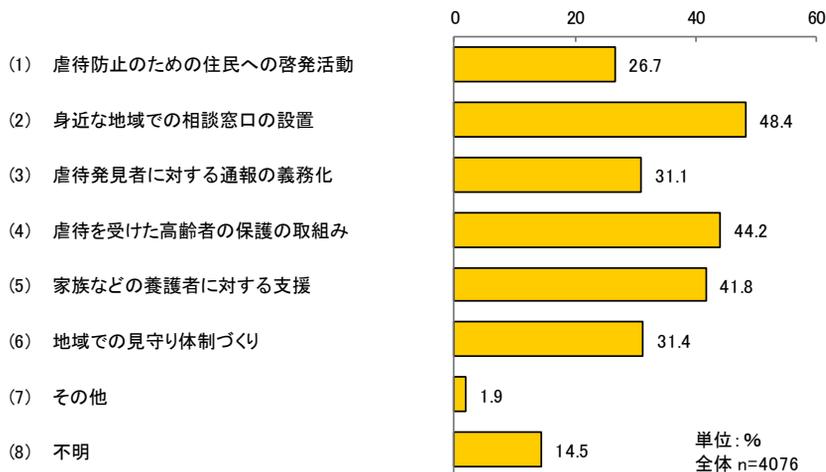
問24. 次のうち、あなたが高齢者虐待に当てはまると思うものをお答えください。  
(複数回答)



※「高齢者の年金や預金を本人の意思に反して家族が使う」は、前回は「高齢者の年金を本人の意思に反して家族が使う」

問25.高齢者虐待防止のために必要なこと

- 高齢者虐待防止に必要な取組みは、「身近な地域での相談窓口の設置」(48.4%)、「虐待を受けた高齢者の保護の取組み」(44.2%)、「家族などの養護者に対する支援」(41.8%)が上位である。
- 年齢別にみると、「虐待を受けた高齢者の保護の取組み」「家族などの養護者に対する支援」は、65～69歳で特に高くなっている。年齢が高くなるほど、全体的にポイントが低くなる傾向がある。
- 要介護度別にみると、要支援で「家族などの養護者に対する支援」が低めとなっている。
- 認知症の認識別にみると、認識が低い層は、全体的にポイントが低く「不明」が多くなっている。

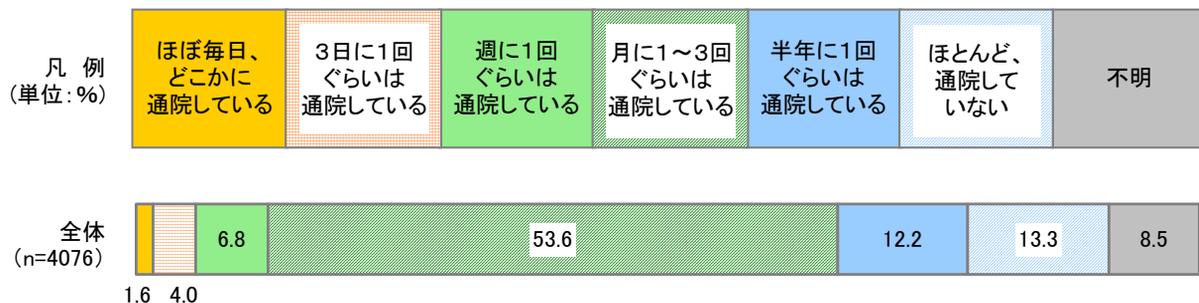


問25. あなたは、高齢者虐待の防止のために必要な取組みはどのようなことだと思いますか。(複数回答)

	サンプル数	啓発活動のための住民への	設置した地域での相談窓口の	義務化発見者に対する通報の	の虐待を受けた高齢者の保護	支援家族などの養護者に対する	地域での見守り体制づくり	その他	不明	
全体	4076	26.7	48.4	31.1	44.2	41.8	31.4	1.9	14.5	
年齢	65～69歳	1065	27.6	51.8	32.0	50.0	50.7	32.6	2.2	8.1
	70～74歳	1018	28.3	50.0	30.3	46.7	42.3	31.8	1.6	13.5
	75～79歳	858	28.2	48.4	31.7	40.7	38.0	31.5	2.0	16.3
	80～84歳	567	23.6	45.0	29.5	38.3	31.0	30.5	1.8	21.3
	85～89歳	302	22.2	43.4	33.4	41.4	43.0	32.8	3.3	15.9
	90歳以上	163	20.9	37.4	27.6	38.0	39.3	28.2	1.8	24.5
要介護度	要支援1	271	26.6	44.3	28.0	39.1	32.5	33.2	1.1	20.7
	要支援2	203	21.2	48.3	29.1	44.3	36.9	30.5	3.4	16.3
	要介護1	122	20.5	48.4	30.3	41.8	40.2	34.4	1.6	14.8
	要介護2	125	16.8	39.2	36.0	49.6	52.8	30.4	1.6	16.0
	要介護3	88	21.6	40.9	28.4	46.6	46.6	40.9	4.5	9.1
	要介護4	72	20.8	36.1	25.0	40.3	48.6	27.8	1.4	20.8
	要介護5	69	24.6	50.7	30.4	43.5	49.3	18.8	4.3	13.0
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	31.4	50.5	32.9	48.9	46.4	32.0	2.1	10.4
	認知症の認識									
よく知っている	1109	31.0	47.3	35.9	45.5	42.4	30.7	2.7	11.3	
知っている	2320	27.1	51.2	31.3	47.0	43.8	33.1	1.5	12.0	
言葉を聞いたことはあるが、あまり知らない	482	20.5	45.4	24.5	35.5	39.0	28.6	2.1	20.5	
まったく知らない	60	5.0	31.7	15.0	23.3	15.0	23.3	3.3	46.7	

問26.病院・診療所への通院の頻度

- 病院や診療所への通院頻度は、「月に1～3回ぐらい」が53.6%で最も多い。「週に1回以上」の合計は12.4%、「半年に1回以下」の合計は25.5%である。
- 年齢別にみると、一部の例外はあるものの、年齢が高いほど通院頻度は高い傾向。

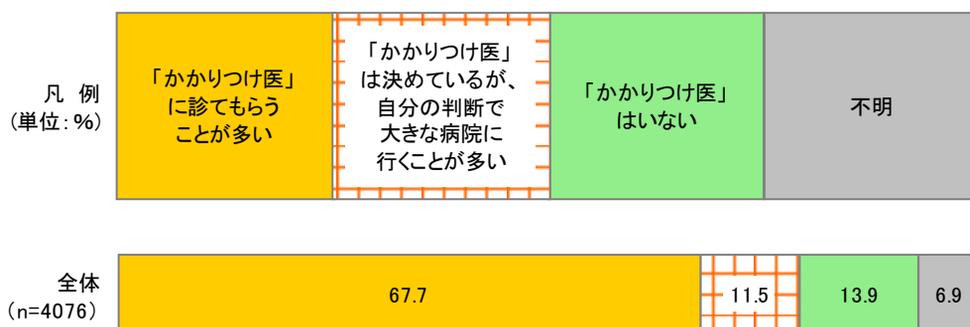


問26. あなたは、病院や診療所にどの程度、通院(往診・訪問診療も含む)していますか。

		サンプル数	ほぼ毎日、どこかに通院	3日に1回ぐらいは通院	週に1回ぐらいは通院	月に1～3回ぐらいは通院	半年に1回ぐらいは通院	ほとんど、通院していない	不明
全体		4076	1.6	4.0	6.8	53.6	12.2	13.3	8.5
年齢	65～69歳	1065	0.5	2.2	3.6	46.3	17.3	23.8	6.4
	70～74歳	1018	1.0	4.5	4.3	54.1	13.4	14.0	8.6
	75～79歳	858	2.6	5.0	9.0	57.0	10.5	7.5	8.5
	80～84歳	567	2.8	3.9	10.2	61.4	6.7	4.6	10.4
	85～89歳	302	2.0	6.6	13.9	55.3	8.3	6.3	7.6
	90歳以上	163	1.8	5.5	6.7	53.4	6.7	10.4	15.3
要介護度	要支援1	271	4.4	8.1	13.7	56.8	5.9	1.1	10.0
	要支援2	203	3.4	11.3	17.2	59.1	4.9	1.5	2.5
	要介護1	122	0.8	3.3	16.4	60.7	6.6	4.1	8.2
	要介護2	125	4.8	8.0	8.8	54.4	11.2	4.8	8.0
	要介護3	88	2.3	5.7	14.8	46.6	8.0	8.0	14.8
	要介護4	72	-	5.6	16.7	43.1	6.9	8.3	19.4
	要介護5	69	2.9	4.3	17.4	37.7	5.8	8.7	23.2
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	1.1	2.7	4.1	55.3	14.0	16.1	6.6

問27.かかりつけ医との関わり方

- かかりつけ医との関わり方をみると、「かかりつけ医に診てもらいたい」とした人が67.7%と多数を占めた。「かかりつけ医はいない」は13.9%。
- 年齢別にみると、年齢が高い層ほど、かかりつけ医に診てもらっている。65～69歳では、約4分の1が「かかりつけ医はいない」としている。

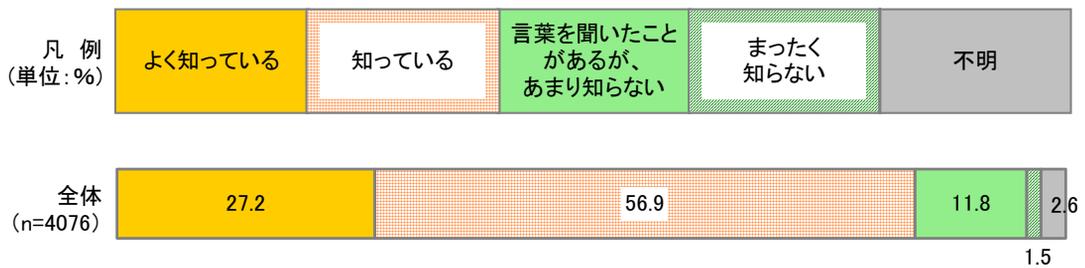


問27. あなたは、「かかりつけ医」とどのように関わっていますか。

		サンプル数	「かかりつけ医に診てもらいたい」	「かかりつけ医は決めているが、自分の判断で大きな病院に行くことが多い」	「かかりつけ医はいない」	不明
全体		4076	67.7	11.5	13.9	6.9
年齢	65～69歳	1065	60.2	10.3	24.1	5.4
	70～74歳	1018	66.9	11.6	14.0	7.5
	75～79歳	858	69.7	15.6	8.3	6.4
	80～84歳	567	74.4	10.1	7.1	8.5
	85～89歳	302	76.8	8.9	7.6	6.6
	90歳以上	163	76.7	5.5	8.6	9.2
要介護度	要支援1	271	77.9	10.0	4.4	7.7
	要支援2	203	78.8	12.3	5.4	3.4
	要介護1	122	76.2	9.8	5.7	8.2
	要介護2	125	76.8	12.0	7.2	4.0
	要介護3	88	76.1	6.8	9.1	8.0
	要介護4	72	70.8	5.6	8.3	15.3
	要介護5	69	76.8	4.3	5.8	13.0
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	65.5	11.8	17.1	5.6

問28.認知症の認識度

- 認知症についての認識度は、「よく知っている」と「知っている」の合計が84.1%と高い。
- 性別×年齢で見ると、男性より女性で「よく知っている」の比率が高く、特に女性70歳代で認識度が高い。



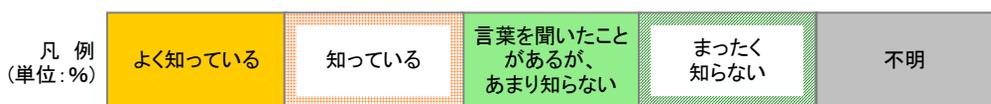
問28. あなたは、「認知症」について知っていますか。

		サンプル数	よく知っている	知っている	言葉を聞いたことがあるが、あまり知らない	まったく知らない	不明
全体		4076	27.2	56.9	11.8	1.5	2.6
性別×年齢	男性 計	1711	24.3	59.3	13.2	1.2	2.1
	65～69歳	491	23.4	61.7	13.2	0.2	1.4
	70～74歳	440	22.3	59.8	14.3	1.1	2.5
	75～79歳	390	26.4	56.9	12.8	2.1	1.8
	80～84歳	219	26.9	57.5	11.4	1.4	2.7
	85～89歳	99	22.2	59.6	15.2	1.0	2.0
	90歳以上	37	29.7	45.9	16.2	5.4	2.7
	女性 計	2150	29.7	55.9	10.3	1.3	2.7
	65～69歳	560	28.6	61.4	7.7	0.5	1.8
	70～74歳	543	32.8	52.9	11.6	0.6	2.2
	75～79歳	425	32.2	55.8	8.5	1.9	1.6
80～84歳	312	28.2	55.8	11.2	1.3	3.5	
85～89歳	177	26.0	53.1	14.7	4.5	1.7	
90歳以上	105	21.9	45.7	15.2	1.9	15.2	

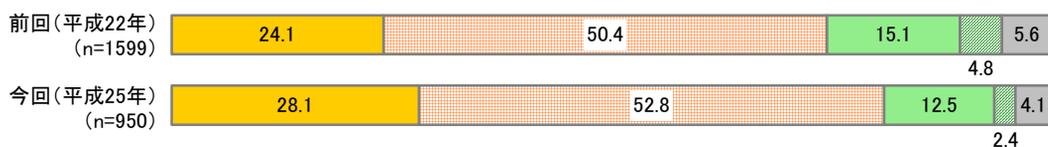
問28.認知症の認識度【経年比較】

- 認知症についての認識度は、前回調査よりポイントが高くなっており、「よく知っている」「知っている」とも上昇している。
- 要介護・要支援認定を受けている層は、「よく知っている」が約4ポイント高くなっており、認定を受けていない層は「知っている」が約5ポイント高くなっている。

問28. あなたは、「認知症」について知っていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

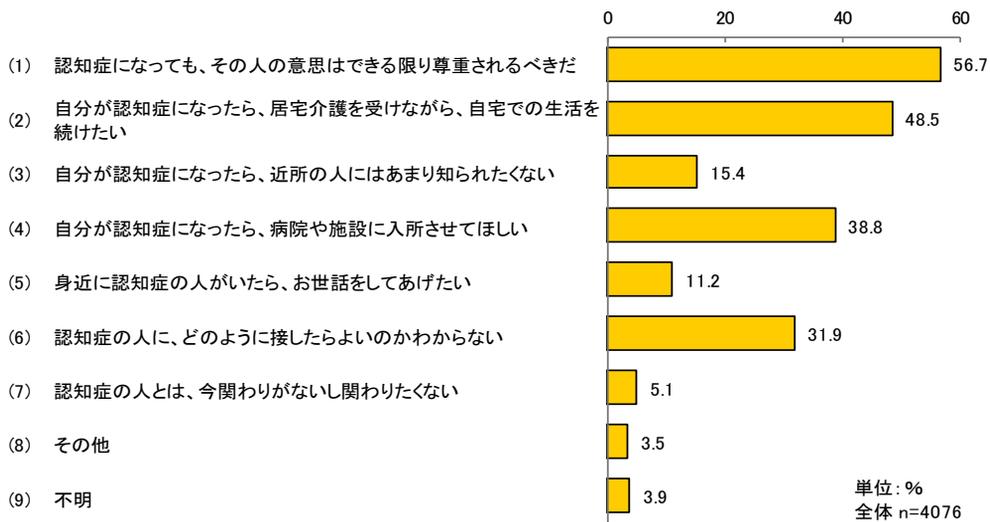


【要介護・要支援認定を受けていない】



問29.認知症に対する考え方

- 認知症についての考えは、「認知症になっても、その人の意思はできる限り尊重されるべきだ」が56.7%で最も多い。一方、「認知症の人に、どのように接したらよいかわからない」も31.9%みられた。
- 「自分が認知症になったら、居宅介護を受けながら、自宅での生活を続けたい」が48.5%、「自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい」が38.8%で、自宅での生活を望む回答の方が多かった。
- 性別×年齢で見ると、年齢が下がるほど接し方がわからないという意見が多く、特に男性の79歳以下でポイントが高い。また、女性に比べて男性の方が自宅での生活を望む比率が高い。



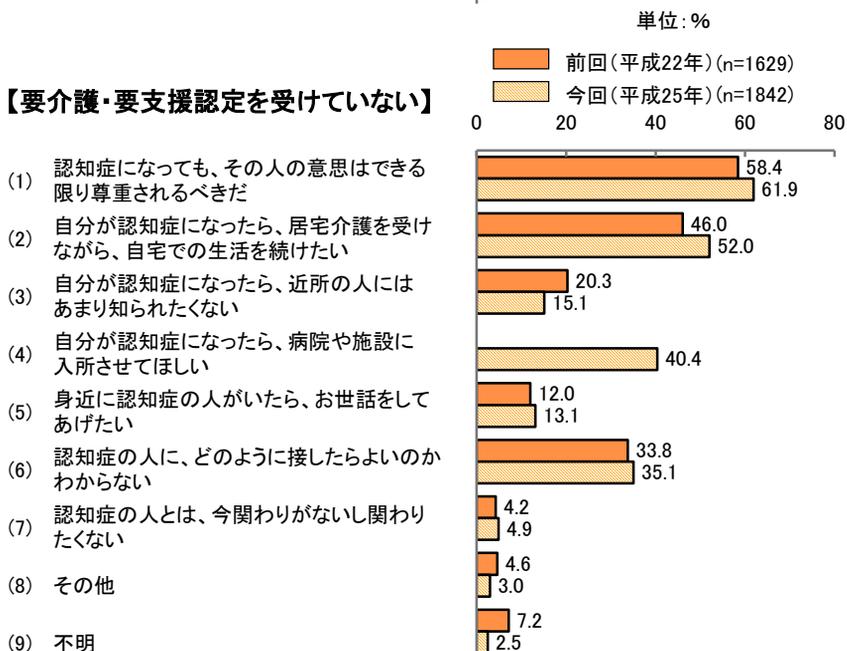
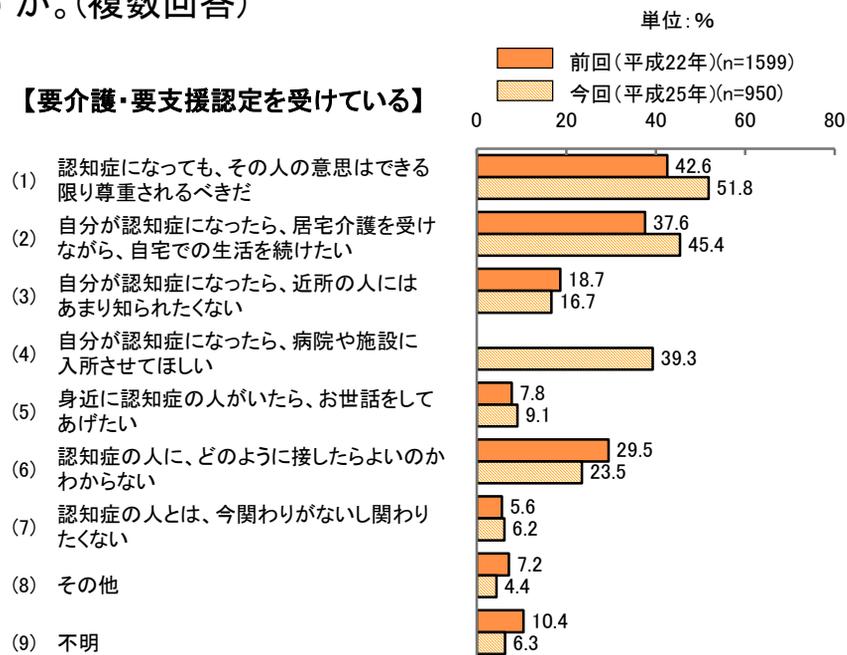
問29. あなたは、認知症、あるいは認知症の人に対して、どのようなお考えをおもちですか。(複数回答)

		サンプル数	認知症になっても、その人の意思はできる限り尊重されるべきだ	自分が認知症になったら、居宅介護を受けながら、自宅での生活を続けたい	自分が認知症になったら、近所の人にはあまり知られたくない	自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい	身近に認知症の人がいたら、お世話をあげたい	認知症の人に、どのように接したらよいかわからない	認知症の人とは、今関わりがないし関わりたくない	その他	不明
全体		4076	56.7	48.5	15.4	38.8	11.2	31.9	5.1	3.5	3.9
性別×年齢	男性 計	1711	56.9	51.5	16.1	36.2	9.2	38.0	5.6	2.5	3.2
	65～69歳	491	54.4	49.1	13.4	37.3	7.3	45.2	5.1	2.2	2.0
	70～74歳	440	55.7	52.0	15.0	35.5	10.0	40.9	5.7	1.8	3.0
	75～79歳	390	59.5	53.6	17.7	37.7	10.5	37.4	6.4	3.6	3.1
	80～84歳	219	61.6	55.3	20.1	31.1	10.0	28.3	4.1	2.3	3.2
	85～89歳	99	53.5	47.5	17.2	36.4	9.1	21.2	6.1	3.0	6.1
	90歳以上	37	59.5	45.9	16.2	40.5	5.4	35.1	5.4	-	5.4
	女性 計	2150	57.7	46.7	14.9	41.2	12.7	27.2	4.6	4.3	4.1
	65～69歳	560	62.7	45.5	13.8	44.6	12.1	31.8	2.3	3.9	2.5
	70～74歳	543	61.3	47.1	13.1	42.9	15.7	30.0	4.2	5.0	2.8
	75～79歳	425	58.1	53.2	16.2	39.3	14.8	24.7	2.8	3.5	3.8
	80～84歳	312	50.0	46.8	19.2	40.4	11.2	26.9	7.7	4.2	5.1
85～89歳	177	52.5	40.1	18.6	35.0	9.0	20.3	6.2	6.2	4.0	
90歳以上	105	44.8	32.4	6.7	39.0	3.8	14.3	9.5	3.8	18.1	

問29.認知症に対する考え方【経年比較】

- 認知症についての考えを前回と比較すると、「その人の意思は尊重されるべきだ」「自宅で生活を続けたい」は、要介護・要支援認定を受けている層及び受けていない層ともに上昇しているが、認定を受けている層の方が上昇ポイントが大きい。
- 「どのように接したらよいかわからない」は、認定を受けている層では低下しているが、認定を受けていない層ではわずかに上昇している。

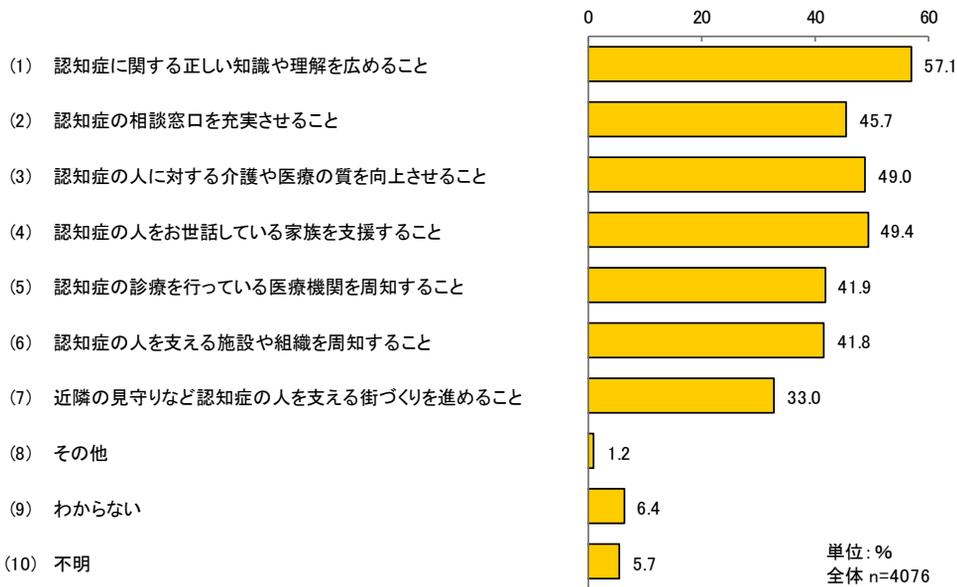
問29. あなたは、認知症、あるいは認知症の人に対して、どのようなお考えをおもちですか。(複数回答)



※「自分が認知症になったら、居宅介護を受けながら、自宅での生活を続けたい」は、  
 前回は「自分が認知症になったら、周りの人の手を借りながら、自宅での生活を続けたい」  
 ※「自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい」は、前回は聴取なし

問30.認知症の人が安心して暮らせるまちにするために

- 認知症の人が安心して暮らせるために必要な対策は、それぞれ高いポイントを獲得しているが、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が57.1%で最も高い。
- 性別では、あまり差はみられない。性別×年齢で見ると、女性では年齢が低いほど全体的にポイントが高い傾向にあり、特に「認知症の人をお世話している家族を支援すること」が高くなっている。
- 認知症の認識別では、認識度が高い人ほど総じてポイントが高い。



問30. あなたは、認知症の人が安心して暮らせるまちにするには、どのような対策が必要だと思いますか。(複数回答)

		サンプル数	認知症に関する正しい知識や理解を広めること	認知症の相談窓口を充実させること	認知症の質を向上させること	認知症の人に対する介護や医療の質を向上させること	認知症の人をお世話している家族を支援すること	認知症の診療を行っている医療機関を周知すること	認知症の人を支える施設や組織を周知すること	近隣の見守りなど認知症の人を支える街づくりを進めること	その他	わからない	不明
全体		4076	57.1	45.7	49.0	49.4	41.9	41.8	33.0	1.2	6.4	5.7	
性別×年齢	男性 計	1711	57.7	47.3	50.5	48.7	40.4	40.9	33.5	1.6	5.8	4.2	
	65～69歳	491	59.7	45.6	52.7	53.2	38.7	44.4	36.5	1.4	5.7	2.2	
	70～74歳	440	54.1	48.9	45.9	48.4	40.7	40.7	34.3	1.1	5.9	5.2	
	75～79歳	390	57.9	49.2	53.1	48.5	42.3	41.0	33.1	2.3	6.9	4.4	
	80～84歳	219	63.9	47.9	48.4	45.7	41.1	38.8	32.9	1.4	4.6	3.7	
	85～89歳	99	50.5	44.4	52.5	40.4	38.4	36.4	25.3	2.0	4.0	6.1	
	90歳以上	37	54.1	48.6	51.4	48.6	40.5	32.4	21.6	-	13.5	5.4	
	女性 計	2150	57.9	45.1	48.6	51.4	44.1	43.3	33.2	0.8	6.1	6.5	
	65～69歳	560	61.6	45.4	52.1	58.0	46.3	47.9	35.4	0.5	5.5	3.4	
	70～74歳	543	59.1	47.9	51.4	54.0	48.1	46.0	35.0	1.5	5.5	4.2	
75～79歳	425	62.8	48.0	48.5	48.2	44.2	42.6	34.1	0.7	5.4	6.8		
80～84歳	312	52.2	42.6	42.9	43.3	42.9	39.1	31.4	1.0	9.0	9.9		
85～89歳	177	50.8	38.4	42.4	49.7	39.0	37.9	27.7	0.6	7.3	6.2		
90歳以上	105	41.9	35.2	41.0	41.9	26.7	32.4	23.8	-	5.7	22.9		
認知症の認識	よく知っている	1109	64.1	49.2	55.6	55.9	47.3	48.8	36.8	1.8	3.6	2.4	
	知っている	2320	60.0	48.2	50.8	51.1	44.0	43.0	34.4	0.9	5.3	3.1	
	言葉を聞いたことはあるが、あまり知らない	482	43.2	37.6	37.6	38.8	30.7	30.5	27.0	1.2	14.9	8.3	
	まったく知らない	60	15.0	18.3	15.0	21.7	10.0	16.7	11.7	-	43.3	16.7	

問31.成年後見制度の認識度

- 成年後見制度の認識度は、「知っている」(30.9%)、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」(35.5%)、「知らない」(30.3%)で、それぞれ3割程度であった。
- 性別×年齢で見ると、女性の80歳以上で「知らない」割合が高い。
- 認知症の認識度とは、相関関係が見られた。



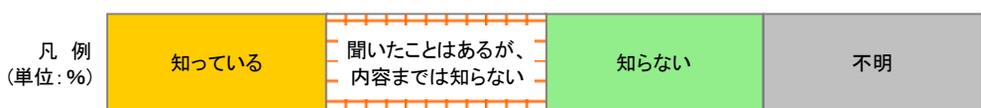
問31. あなたは、成年後見制度について知っていますか。

		サンプル数	知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	知らない	不明
全体		4076	30.9	35.5	30.3	3.3
性別×年齢	男性 計	1711	30.4	39.3	27.9	2.4
	65～69歳	491	34.0	37.9	26.5	1.6
	70～74歳	440	28.6	40.7	28.2	2.5
	75～79歳	390	29.0	42.1	26.2	2.8
	80～84歳	219	28.8	37.0	32.0	2.3
	85～89歳	99	22.2	43.4	31.3	3.0
	90歳以上	37	37.8	29.7	29.7	2.7
	女性 計	2150	32.0	32.8	31.6	3.6
	65～69歳	560	37.9	31.8	28.4	2.0
	70～74歳	543	33.0	33.9	30.2	2.9
75～79歳	425	31.1	36.0	30.6	2.4	
80～84歳	312	27.2	31.7	35.3	5.8	
85～89歳	177	27.1	33.3	37.9	1.7	
90歳以上	105	22.9	21.0	39.0	17.1	
認知症の認識	よく知っている	1109	53.5	25.0	20.2	1.4
	知っている	2320	27.3	42.2	29.1	1.4
	言葉を聞いたことはあるが、あまり知らない	482	6.0	37.8	55.2	1.0
	まったく知らない	60	-	6.7	88.3	5.0

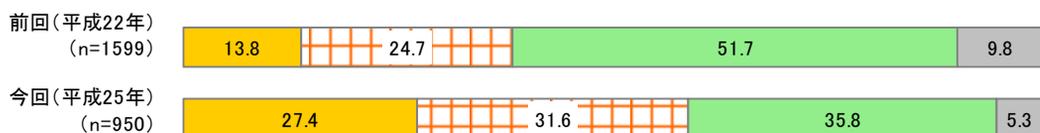
問31.成年後見制度の認知度【経年比較】

- 成年後見制度の認知度を前回と比較すると、大きく上昇しており、要介護・要支援認定を受けている層では、「知っている」が前回13.8%から今回27.4%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が前回24.7%から今回31.6%となっている。
- 認定を受けていない層でも、「知っている」が前回16.6%から今回36.3%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が前回30.6%から今回37.4%と大きく上昇している。

問31. あなたは、成年後見制度について知っていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

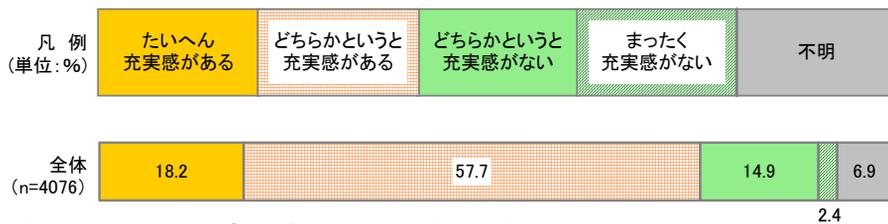


【要介護・要支援認定を受けていない】



問32.日々の充実感

- 日々の充実感の有無は、「どちらかという充実感がある」が最も多く、57.7%を占めた。「たいへん充実感がある」の18.2%を加えると、75.9%に達する。
- 年齢別にみると、80歳を超えると、充実感が下がってくる傾向がある。
- 世帯構成別にみると、夫婦二人暮らし、親族又は友人などと同居で、充実感が高くなっている。特に、親族又は友人などと同居(65歳未満含む)は「たいへん充実感がある」が41.5%と高い。
- 要介護度別にみると、要介護度が上がるごとに、充実感は下がっている。
- 暮らし向き、生活の安心とも、相関関係がみられた。



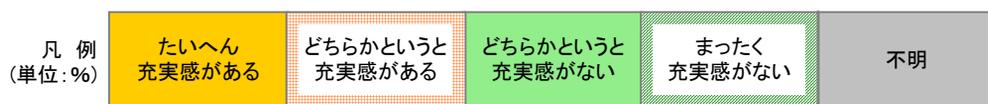
問32. あなたは、日々充実感をもって生活を送っていますか。

		サンプル数	がたいへん充実感がある	どちらかという充実感がある	どちらかという充実感がない	まったく充実感がない	不明
全体		4076	18.2	57.7	14.9	2.4	6.9
年齢	65～69歳	1065	19.0	60.6	13.4	1.7	5.4
	70～74歳	1018	21.2	59.3	12.5	2.2	4.8
	75～79歳	858	17.6	58.4	14.9	1.7	7.3
	80～84歳	567	17.3	54.3	16.0	3.2	9.2
	85～89歳	302	15.9	50.7	20.2	5.0	8.3
	90歳以上	163	6.7	49.7	24.5	3.1	16.0
世帯構成	一人暮らし	766	16.8	56.5	16.8	2.7	7.0
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	20.8	59.2	12.2	1.8	6.0
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	17.8	68.1	10.3	0.5	3.2
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	15.6	48.4	19.7	1.6	14.8
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	16.8	57.7	16.4	2.7	6.3
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	13.1	65.6	11.5	3.3	6.6
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	41.5	36.6	19.5	-	2.4
	施設に入所	94	5.3	39.4	25.5	8.5	21.3
要介護度	要支援1	271	14.0	59.4	17.0	1.5	8.1
	要支援2	203	11.3	58.6	20.7	3.0	6.4
	要介護1	122	14.8	39.3	32.8	5.7	7.4
	要介護2	125	4.0	49.6	30.4	7.2	8.8
	要介護3	88	8.0	46.6	30.7	4.5	10.2
	要介護4	72	5.6	36.1	31.9	12.5	13.9
	要介護5	69	4.3	36.2	24.6	14.5	20.3
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	21.1	61.1	11.8	1.1	4.9
暮らし向き	たいへんゆとりがある	104	55.8	36.5	2.9	2.9	1.9
	ややゆとりがある	530	31.7	61.1	5.5	0.6	1.1
	普通である	2506	18.2	64.2	13.0	1.3	3.3
	やや苦しい	575	6.6	52.3	32.9	4.7	3.5
	たいへん苦しい	162	8.0	33.3	34.0	17.9	6.8
生活の安心	安心して暮らすことができる	1055	35.5	49.2	8.3	1.2	5.8
	どちらかという安心して暮らすことができる	2411	13.0	65.1	15.6	1.6	4.7
	どちらかという安心して暮らすことができない	350	9.4	46.6	32.9	4.9	6.3
	まったく安心して暮らすことができない	69	4.3	39.1	18.8	26.1	11.6

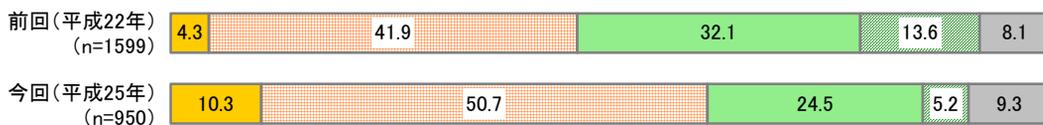
問32.日々の充実感【経年比較】

- 日々の充実感の有無を前回と比較すると、前回よりも大きく充実感が上がっている。
- 要介護・要支援認定を受けている層は、「どちらかという充実感がある」が約9ポイント高くなっている。「たいへん充実感がある」も約6ポイント高くなっている。
- 認定を受けていない層は、「たいへん充実感がある」が約11ポイントも高くなっている。

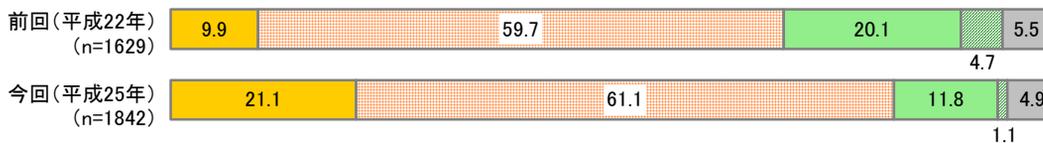
問32. あなたは、日々充実感をもって生活を送っていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

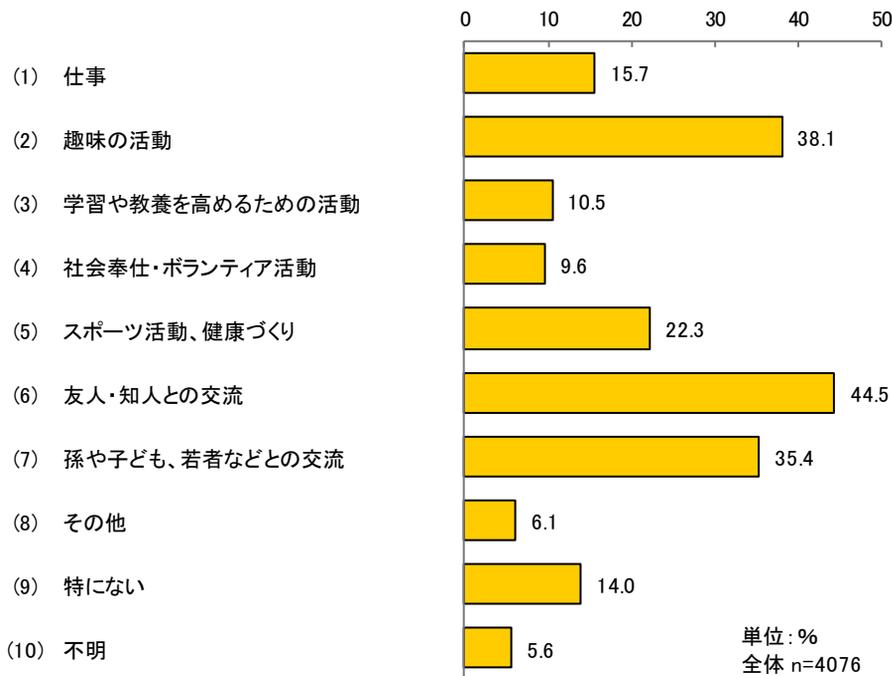


【要介護・要支援認定を受けていない】



問33.生きがいを感じていること

- 生きがいを感じていることは、「友人・知人との交流」(44.5%)、「趣味の活動」(38.1%)、「孫や子ども、若者などとの交流」(35.4%)が上位。
- 性別で見ると、女性が男性よりポイントが高いのは、「友人・知人との交流」や「孫や子ども、若者などとの交流」である。一方、男性が女性より高いのは「仕事」や「趣味の活動」。
- 世帯構成別にみると、夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)、親族又は友人などと同居(65歳未満含む)でポイントが高く出ており、活動的といえる。

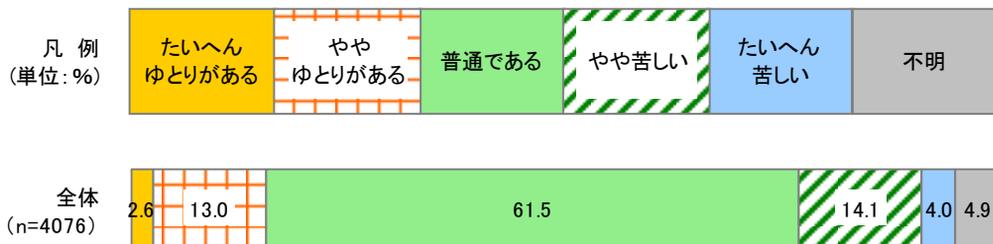


問33. あなたが、現在、生きがいを感じていることはどのようなことですか。(複数回答)

		サンプル数	仕事	趣味の活動	学習や教養を高めるための活動	社会奉仕・ボランティア活動	スポーツ活動、健康づくり	友人・知人との交流	孫や子ども、若者などとの交流	その他	特にない	不明
全体		4076	15.7	38.1	10.5	9.6	22.3	44.5	35.4	6.1	14.0	5.6
性別	男性	1711	21.8	41.6	11.7	10.9	25.9	36.4	30.0	5.3	14.8	4.7
	女性	2150	11.4	36.9	10.0	9.3	20.3	51.6	40.2	6.8	12.7	5.3
世帯構成	一人暮らし	766	9.3	34.1	9.8	6.5	19.3	50.1	32.1	7.6	15.5	5.0
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	16.9	42.5	13.2	11.7	27.1	47.6	39.1	5.3	11.0	4.7
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	25.4	47.0	10.3	7.6	30.8	39.5	37.8	3.8	10.3	2.2
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	12.3	25.4	4.1	6.6	10.7	30.3	30.3	9.8	20.5	11.5
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	18.7	36.9	9.3	10.5	20.3	42.0	34.7	6.3	15.5	5.5
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	18.0	42.6	6.6	6.6	18.0	37.7	21.3	6.6	16.4	6.6
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	14.6	41.5	24.4	9.8	31.7	56.1	43.9	4.9	14.6	-
	施設に入所	94	1.1	21.3	2.1	1.1	6.4	19.1	26.6	3.2	29.8	22.3

問34.日々の暮らし向き

- 日々の暮らし向き実感は、「普通である」が61.5%と多数を占めている。「たいへんゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計は15.6%、「やや苦しい」と「たいへん苦しい」の合計は18.1%であった。
- 住宅種類別にみると、借家は「苦しい」と回答した人の比率が高い。「ゆとりがある」との回答は、持ち家(一戸建て)、有料老人ホーム等への入居者層で比率が高かった。
- 要介護度別では、要介護4～5で「たいへん苦しい」が他と比較して高い。



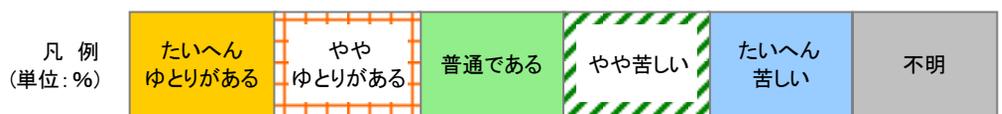
問34. あなたは、日々の暮らし向きについて、どのように感じていますか。

		サンプル数	たいへんゆとりがある	ややゆとりがある	普通である	やや苦しい	たいへん苦しい	不明
全体		4076	2.6	13.0	61.5	14.1	4.0	4.9
住宅種類別	持ち家(一戸建て)	2542	3.1	15.9	64.8	9.9	2.1	4.2
	持ち家(マンション・長屋建てなどの共同住宅)	588	1.9	12.2	60.4	17.2	3.2	5.1
	借家(一戸建て)	94	-	5.3	51.1	28.7	6.4	8.5
	借家(民営の賃貸マンション、アパートなどの共同住宅)	288	0.7	4.2	51.0	26.4	12.8	4.9
	借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)	366	1.1	5.5	56.6	24.3	9.0	3.6
	有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、認知症高齢者グループホームなど	53	9.4	11.3	60.4	9.4	3.8	5.7
	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設	61	3.3	4.9	45.9	16.4	6.6	23.0
その他	32	-	9.4	40.6	31.3	12.5	6.3	
要介護度	要支援1	271	1.8	11.4	67.5	11.1	3.7	4.4
	要支援2	203	0.5	13.3	59.6	21.7	2.5	2.5
	要介護1	122	4.1	12.3	57.4	14.8	4.9	6.6
	要介護2	125	2.4	7.2	66.4	16.8	3.2	4.0
	要介護3	88	3.4	5.7	56.8	23.9	4.5	5.7
	要介護4	72	2.8	4.2	54.2	16.7	11.1	11.1
	要介護5	69	1.4	11.6	36.2	17.4	15.9	17.4
要介護・要支援認定を受けていない	1842	2.7	15.5	61.9	13.1	2.9	3.9	

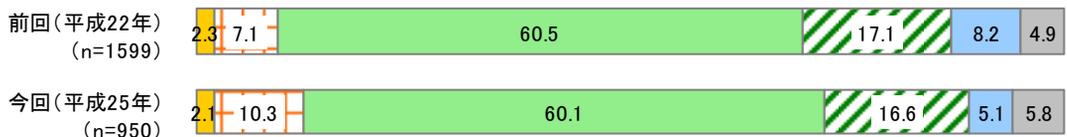
問34.日々の暮らし向き【経年比較】

- 暮らし向き実感を前回と比較すると、「普通である」は前回とほぼ同じである。
- 要介護・要支援認定を受けている層及び認定を受けていない層とも、「ゆとりがある」が上昇し、「苦しい」が低下傾向にある。

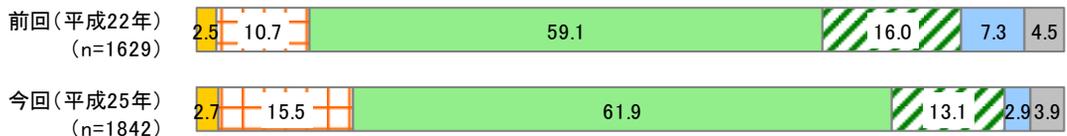
問34. あなたは、日々の暮らし向きについて、どのように感じていますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

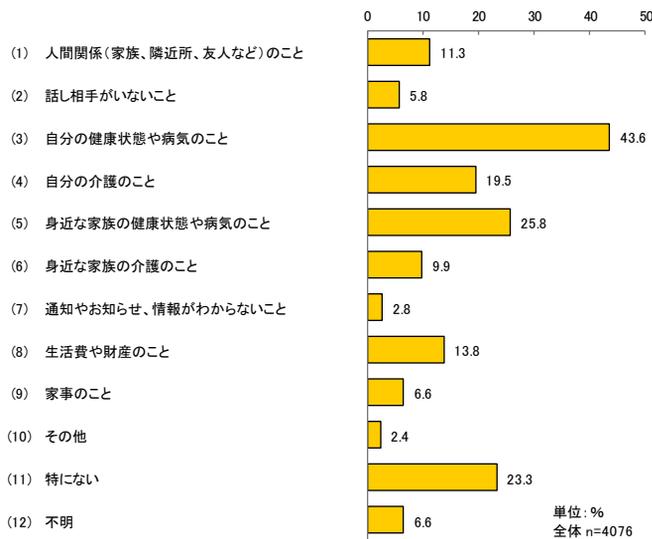


【要介護・要支援認定を受けていない】



問35.日常生活上の不安や悩み

- 日常生活での不安や悩みは、「自分の健康状態や病気のこと」が43.6%、「身近な家族の健康状態や病気のこと」が25.8%で上位で、健康面が気になっている。「特にない」も23.3%と多い。
- 年齢別にみると、「自分の健康状態や病気のこと」は75～89歳で特に高く、85歳以上になると、「話し相手がないこと」「自分の介護のこと」も高くなる。
- 世帯構成別にみると、「自分の介護のこと」は、施設に入所とともに一人暮らしでも高い。一人暮らしは、「話し相手がないこと」も全体に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要支援・要介護は、「自分の健康状態や病気のこと」「自分の介護のこと」が総じて高い。

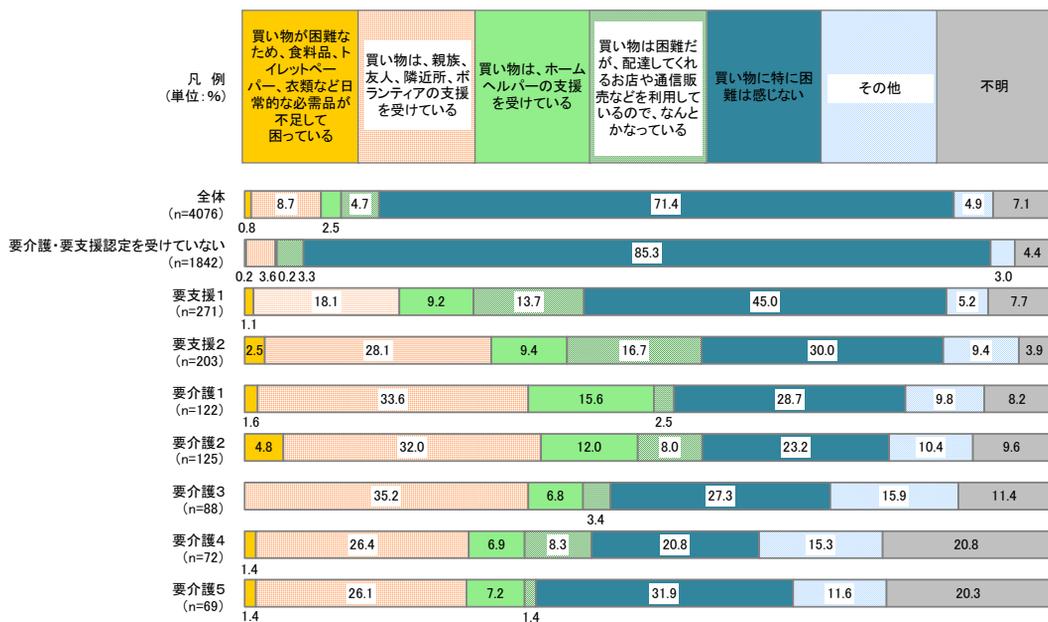


問35. あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。(複数回答)

	サンプル数	人間関係(家族、隣近所、友人など)のこと	話し相手がないこと	自分の健康状態や病気のこと	自分の介護のこと	身近な家族の健康状態や病気のこと	身近な家族の介護のこと	通知やお知らせ、情報がわからないこと	生活費や財産のこと	家事のこと	その他	特にない	不明	
全体	4076	11.3	5.8	43.6	19.5	25.8	9.9	2.8	13.8	6.6	2.4	23.3	6.6	
年齢	65～69歳	1065	12.0	3.3	36.6	11.6	24.2	11.7	12	16.9	4.0	2.2	27.8	5.3
	70～74歳	1018	13.3	4.3	41.7	18.4	26.8	11.0	2.1	15.6	5.9	2.9	25.7	5.0
	75～79歳	858	11.7	4.8	49.1	22.7	27.5	10.0	3.3	13.5	8.3	2.8	20.2	6.3
	80～84歳	567	7.9	9.5	51.9	23.6	25.6	7.6	4.6	9.5	10.8	2.1	20.3	8.5
	85～89歳	302	8.6	10.9	48.0	27.8	25.2	8.6	6.3	9.6	7.9	2.3	17.5	7.0
	90歳以上	163	8.6	14.1	38.7	27.6	20.2	2.5	3.1	5.5	3.7	1.2	19.0	19.0
世帯構成	一人暮らし	766	11.5	13.1	49.5	29.6	16.1	4.3	4.6	15.3	8.5	2.9	19.7	6.3
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	11.1	3.2	42.7	16.7	30.0	12.7	2.3	12.0	6.1	2.9	25.2	5.4
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	12.4	3.2	36.8	5.9	22.2	8.1	-	18.4	2.7	2.2	29.7	4.9
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	9.0	6.6	46.7	19.7	23.8	9.8	2.5	9.8	6.6	0.8	18.9	13.1
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	11.7	4.8	42.7	17.5	28.0	8.9	2.6	15.8	7.1	1.9	23.8	6.3
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	11.5	6.6	32.8	13.1	32.8	36.1	4.9	9.8	4.9	1.6	16.4	8.2
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	12.2	-	41.5	24.4	36.6	14.6	-	7.3	7.3	4.9	26.8	2.4
施設に入所	94	10.6	10.6	42.6	29.8	16.0	8.5	4.3	8.5	1.1	-	17.0	22.3	
要介護度	要支援1	271	9.6	7.4	56.5	28.4	27.3	7.7	3.0	9.6	10.7	2.6	17.3	7.7
	要支援2	203	10.3	14.3	66.5	31.0	28.6	8.4	4.9	13.3	17.7	3.0	4.9	5.4
	要介護1	122	12.3	16.4	58.2	32.0	23.8	9.8	9.0	13.9	8.2	0.8	9.0	7.4
	要介護2	125	6.4	8.8	56.8	39.2	21.6	8.8	4.8	12.8	8.0	4.0	12.0	5.6
	要介護3	88	8.0	18.2	61.4	34.1	20.5	12.5	9.1	11.4	10.2	1.1	11.4	6.8
	要介護4	72	13.9	9.7	52.8	37.5	20.8	5.6	6.9	19.4	9.7	2.8	12.5	15.3
	要介護5	69	10.1	10.1	44.9	33.3	23.2	8.7	7.2	13.0	4.3	2.9	14.5	23.2
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	12.3	3.9	40.4	14.8	27.7	10.2	1.8	14.8	5.0	2.7	27.1	4.8

問36.日常の買い物の困難

- 日常の買い物について、「買い物に特に困難は感じていない」が71.4%である。
- 年齢別にみると、年齢が上がるごとに「困難は感じない」が低くなっており、「親族、友人、隣近所、ボランティアの支援を受けている」が高くなる。
- 世帯構成別にみると、施設に入所及び子どもと同居(世帯全員が65歳以上)の層で、「困難は感じない」のポイントが低い。
- 要介護度別にみると、要支援・要介護では「困難は感じない」は半数以下(最も低い層で約2割)となっており、「親族、友人、隣近所、ボランティアの支援を受けている」が高い。

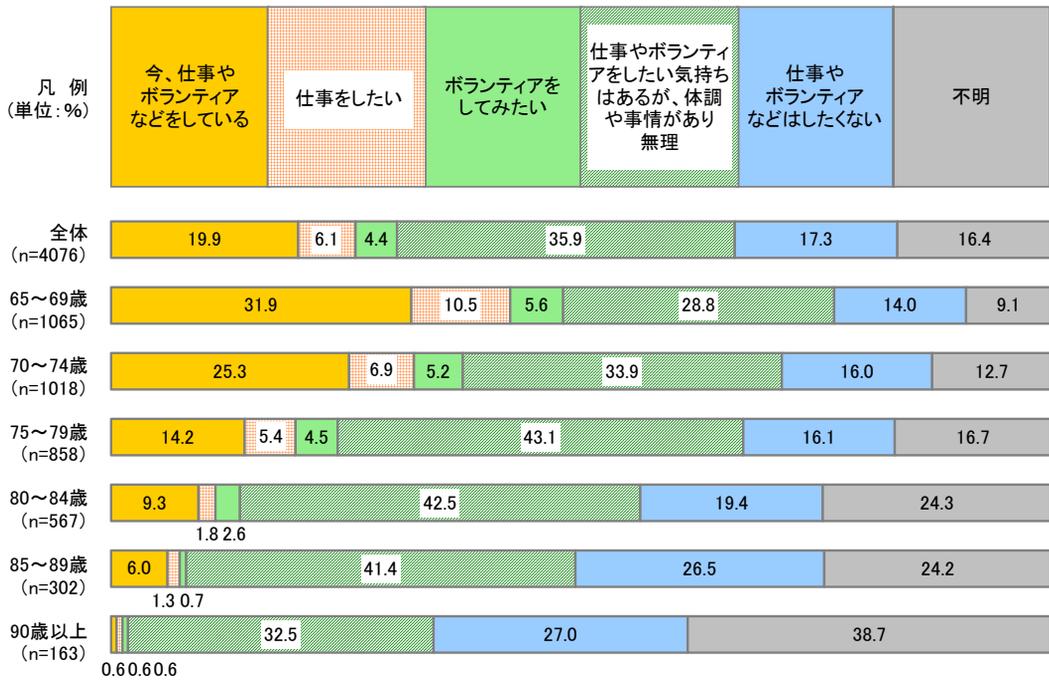


問36. あなたは、日常の買い物に困難を感じていますか。

	サンプル数	的 な 必 需 品 が 不 足 し て 困 っ て い る	買 い 物 が 困 難 な た め 、 衣 類 な ど 日 常 ト	買 い 物 は、 親 族 、 友 人 、 隣 近 所 、 ボ ラ ン テ ィ ア の 支 援 を 受 け て い る	買 い 物 は、 イ ン テ ィ ア の 支 援 を 受 け て い る	買 い 物 は 困 難 だ が、 配 達 し て く れ る お 店 や 通 信 販 売 な ど を 利 用 し て い る	買 い 物 に 特 に 困 難 は 感 じ な い	そ の 他	不 明
全体	4076	0.8	8.7	2.5	4.7	71.4	4.9	7.1	
年齢	65～69歳	1065	0.6	2.9	0.5	2.1	86.6	2.5	4.9
	70～74歳	1018	0.9	4.2	1.0	3.0	80.0	4.2	6.7
	75～79歳	858	0.9	8.2	2.4	4.9	70.4	6.2	7.0
	80～84歳	567	0.9	16.9	4.2	9.3	55.6	5.1	7.9
	85～89歳	302	1.0	21.5	8.6	9.6	42.4	8.3	8.6
	90歳以上	163	-	25.2	8.0	4.9	32.5	11.7	17.8
世帯構成	一人暮らし	766	2.0	9.8	7.4	8.6	62.8	3.9	5.5
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	0.5	6.3	1.2	4.2	77.2	4.5	6.1
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	0.5	1.6	-	1.1	90.8	1.6	4.3
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	0.8	14.8	1.6	4.1	58.2	4.1	16.4
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	0.5	11.0	1.0	3.7	71.1	5.8	6.9
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	1.6	4.9	3.3	3.3	75.4	3.3	8.2
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	-	12.2	-	2.4	78.0	4.9	2.4
施設に入所	94	-	19.1	7.4	-	31.9	14.9	26.6	
要介護度	要支援1	271	1.1	18.1	9.2	13.7	45.0	5.2	7.7
	要支援2	203	2.5	28.1	9.4	16.7	30.0	9.4	3.9
	要介護1	122	1.6	33.6	15.6	2.5	28.7	9.8	8.2
	要介護2	125	4.8	32.0	12.0	8.0	23.2	10.4	9.6
	要介護3	88	-	35.2	6.8	3.4	27.3	15.9	11.4
	要介護4	72	1.4	26.4	6.9	8.3	20.8	15.3	20.8
	要介護5	69	1.4	26.1	7.2	1.4	31.9	11.6	20.3
要介護・要支援認定を受けていない	1842	0.2	3.6	0.2	3.3	85.3	3.0	4.4	

問37.仕事やボランティア活動

- 仕事やボランティア活動についての考えは、「仕事やボランティアをしたい気持ちはあるが、体調や事情があり無理」が35.9%で最も多い。次いで、「今、仕事やボランティアなどを行っている」が19.9%、「仕事やボランティアなどはしたくない」が17.3%。
- 性別でみると、男性の方が「仕事やボランティアをしている」「したい」が高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では仕事やボランティアを「している」が31.9%だが、年齢が上がると減少していき、75～89歳では「したい気持ちはあるが、体調や事情があり無理」が4割を超える。

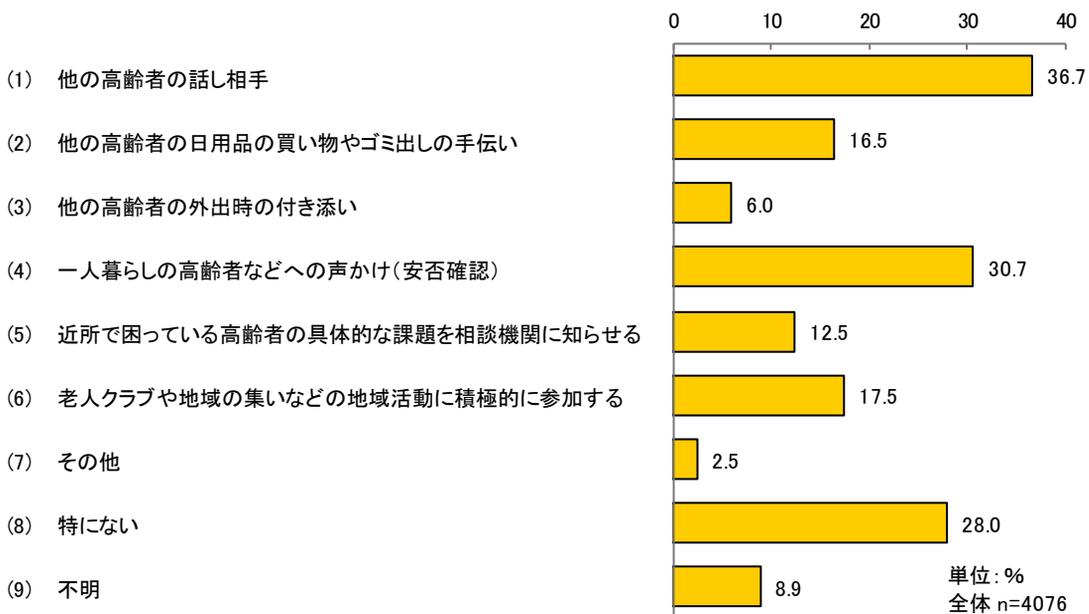


問37. 仕事やボランティア活動について、どう思いますか。

		サンプル数	今、仕事やボランティアなどを行っている	仕事をしたくない	ボランティアをしてみたい	仕事やボランティアをしたい気持ちはあるが、体調や事情があり無理	仕事やボランティアなどはしたくない	不明
全体		4076	19.9	6.1	4.4	35.9	17.3	16.4
性別	男性	1711	24.1	8.9	5.1	33.9	16.7	11.2
	女性	2150	17.5	3.8	3.9	37.8	17.8	19.3
年齢	65～69歳	1065	31.9	10.5	5.6	28.8	14.0	9.1
	70～74歳	1018	25.3	6.9	5.2	33.9	16.0	12.7
	75～79歳	858	14.2	5.4	4.5	43.1	16.1	16.7
	80～84歳	567	9.3	1.8	2.6	42.5	19.4	24.3
	85～89歳	302	6.0	1.3	0.7	41.4	26.5	24.2
	90歳以上	163	0.6	0.6	0.6	32.5	27.0	38.7

問38.高齢者の支え合いとしてあなたができること

- 地域で高齢者が支え合うことを目指す場合に、自分ができると思うことは、「他の高齢者の話し相手」が36.7%、「一人暮らしの高齢者などへの声かけ(安否確認)」が30.7%、以下「老人クラブや地域の集いなどの地域活動に積極的に参加する」「他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い」の順である。
- 性別で見ると、「話し相手」「声かけ」は女性で高く、男性は「特にない」が女性に比べて高い。
- 年齢別では、74歳以下で「他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い」が高い。
- 住宅種類別では、持ち家の層と借家(一戸建て)で「話し相手」が高い。

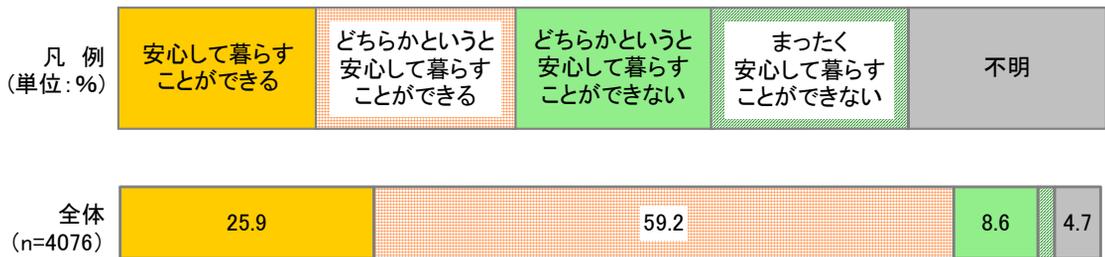


問38. 地域で高齢者が互いに支え合うことを目指すとすれば、あなたは何かができますか。(複数回答)

	サンプル数	他の高齢者の話し相手	他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い	他の高齢者の外出時の付き添い	一人暮らしの高齢者などへの声かけ(安否確認)	近所で困っている高齢者の具体的な課題を相談機関に知らせる	老人クラブや地域の集いなどの地域活動に積極的に参加する	その他	特にない	不明
全体	4076	36.7	16.5	6.0	30.7	12.5	17.5	2.5	28.0	8.9
性別										
男性	1711	32.0	15.7	6.1	27.7	12.7	18.9	2.4	33.5	5.8
女性	2150	40.9	17.9	5.9	33.8	12.6	16.7	2.7	23.2	10.5
年齢										
65~69歳	1065	38.7	25.5	8.7	36.4	16.1	16.5	1.8	24.8	5.3
70~74歳	1018	38.0	21.7	7.3	35.4	15.0	18.6	2.3	24.9	7.7
75~79歳	858	38.1	13.4	5.2	32.2	12.7	21.6	3.0	25.9	9.2
80~84歳	567	34.0	6.7	1.9	23.8	7.6	16.6	3.0	32.8	11.5
85~89歳	302	35.8	4.6	2.6	17.2	6.3	11.3	3.3	36.4	11.3
90歳以上	163	22.1	1.8	1.8	6.1	2.5	11.0	1.8	43.6	23.9
住宅種類別										
持ち家(一戸建て)	2542	38.2	16.8	6.5	31.8	14.0	19.9	2.6	26.0	8.5
持ち家(マンション・長屋建てなどの共同住宅)	588	38.3	17.9	5.8	31.5	11.7	16.3	2.2	27.7	7.0
借家(一戸建て)	94	42.6	17.0	4.3	26.6	8.5	4.3	3.2	26.6	8.5
借家(民営の賃貸マンション、アパートなどの共同住宅)	288	33.3	16.0	5.2	26.0	10.1	11.1	1.7	36.1	8.7
借家(公団・公社・公営の賃貸住宅)	366	29.2	16.9	4.4	33.9	9.8	15.6	3.8	27.6	10.7
有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、認知症高齢者グループホームなど	53	37.7	7.5	-	15.1	7.5	9.4	1.9	41.5	9.4
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設	61	23.0	3.3	4.9	4.9	1.6	4.9	-	47.5	26.2
その他	32	21.9	18.8	6.3	21.9	6.3	3.1	3.1	50.0	15.6

問39.住んでいる地域での暮らしの安心感

- 地域で安心して暮らすことができると感じるかどうかは、「どちらかという安心して暮らすことができる」が59.2%で最も高い。「安心して暮らすことができる」の25.9%を加えると85.1%になる。
- 年齢別にみると、「安心して暮らすことができる」の合計はあまり差がないが、80歳以上の方が積極的に肯定しており、79歳以下は「どちらかといえば」が高い。
- 要介護度別みると、要介護3～5で安心感が薄い。
- 暮らし向きとは、相関関係がみられた。



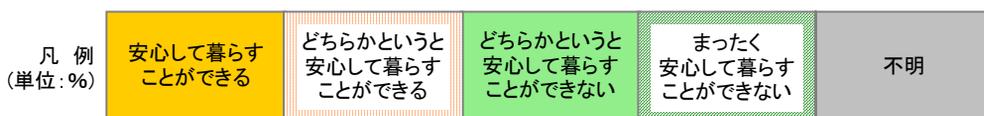
問39. あなたがお住まいの地域で、安心して暮らすことができますと感じますか。

		サンプル数	安心して暮らすことができます	どちらかという安心して暮らすことができます	どちらかという安心して暮らすことができない	まったく安心して暮らすことができない	不明
全体		4076	25.9	59.2	8.6	1.7	4.7
年齢	65～69歳	1065	21.3	62.9	11.4	1.3	3.1
	70～74歳	1018	23.5	61.4	9.2	1.9	4.0
	75～79歳	858	26.0	60.3	7.8	1.4	4.5
	80～84歳	567	33.5	53.3	5.8	2.5	4.9
	85～89歳	302	31.8	55.6	5.6	1.3	5.6
	90歳以上	163	33.1	41.7	6.7	1.2	17.2
要介護度	要支援1	271	33.9	52.8	7.0	1.8	4.4
	要支援2	203	24.1	59.6	11.3	2.0	3.0
	要介護1	122	32.8	49.2	6.6	3.3	8.2
	要介護2	125	23.2	60.0	11.2	1.6	4.0
	要介護3	88	23.9	50.0	13.6	5.7	6.8
	要介護4	72	20.8	44.4	12.5	2.8	19.4
	要介護5	69	18.8	47.8	10.1	5.8	17.4
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	25.0	62.5	8.1	0.9	3.5
暮らし向き	たいへんゆとりがある	104	56.7	34.6	4.8	-	3.8
	ややゆとりがある	530	34.2	59.2	3.4	0.2	3.0
	普通である	2506	27.3	61.7	6.7	1.2	3.2
	やや苦しい	575	12.2	62.8	18.8	2.4	3.8
	たいへん苦しい	162	11.7	46.3	24.7	11.7	5.6

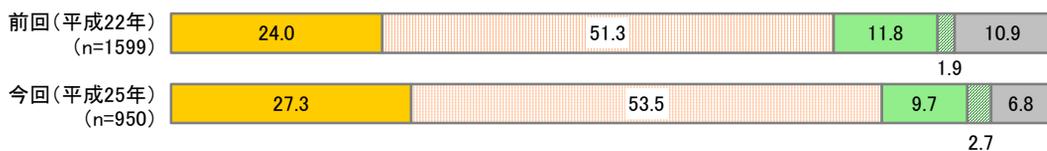
問39.住んでいる地域での暮らしの安心感【経年比較】

- 地域の暮らしの安心感は、要介護・要支援認定を受けている層・受けていない層とも、前回よりも向上しているが、特に受けていない層でポイント上昇幅が大きい。

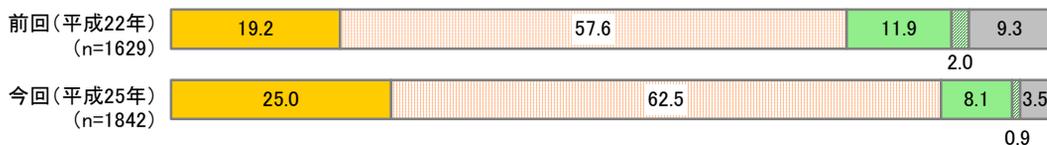
問39. あなたがお住まいの地域で、安心して暮らすことができますと感じますか。



【要介護・要支援認定を受けている】

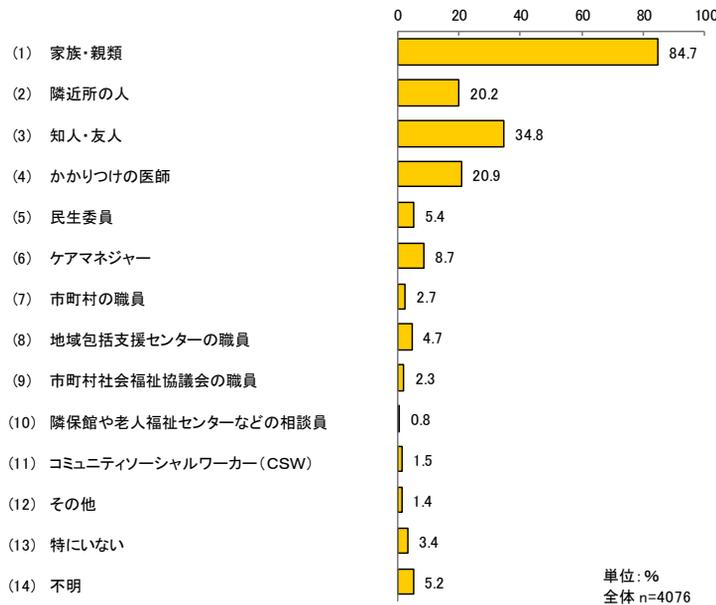


【要介護・要支援認定を受けていない】



問40.日常的に相談できる相手

- 日常的な相談相手は、「家族・親類」が圧倒的に高く、84.7%。次いで、「知人・友人」が34.8%、以下「かかりつけの医師」「隣近所の人」の順である。
- 年齢別にみると、年齢が上がると「知人・友人」のポイントは低くなり、「ケアマネジャー」が高くなる。
- 要介護度別にみると、要介護2～5は「知人・友人」が2割未満と低い。要支援は「かかりつけの医師」「地域包括支援センターの職員」が他に比べて高い。

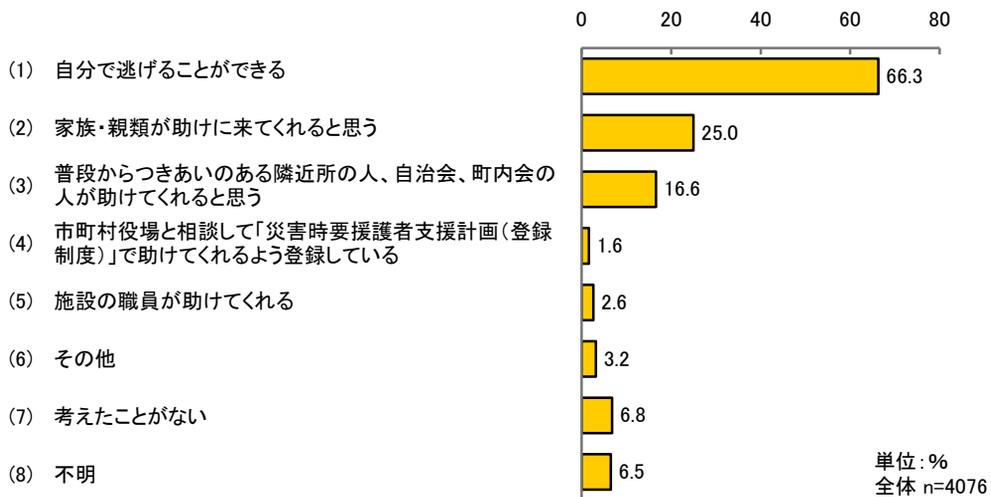


問40. 日常的に連絡が取れ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような人ですか。(複数回答)

		サンプル数	家族・親類	隣近所の人	知人・友人	かかりつけの医師	民生委員	ケアマネジャー	市町村の職員	地域包括支援センターの職員	市町村社会福祉協議会の職員	隣保館や老人福祉センターなどの相談員	コミュニティソーシャルワーカー (CSW)	その他	特にいない	不明
全体		4076	84.7	20.2	34.8	20.9	5.4	8.7	2.7	4.7	2.3	0.8	1.5	1.4	3.4	5.2
年齢	65～69歳	1065	86.2	19.2	41.7	15.7	3.1	3.8	3.3	2.3	1.8	0.4	1.2	0.2	4.4	4.2
	70～74歳	1018	84.7	20.2	39.4	19.7	5.1	4.3	2.1	3.8	2.1	0.6	1.3	1.9	3.8	5.3
	75～79歳	858	83.6	23.5	36.9	23.9	7.7	9.9	3.8	6.5	3.6	1.0	2.4	1.3	3.3	4.1
	80～84歳	567	85.7	21.3	27.2	27.0	7.1	13.4	2.8	7.1	1.9	1.1	1.4	1.9	1.8	5.8
	85～89歳	302	82.5	16.6	19.2	25.5	6.0	22.8	1.3	8.3	2.6	2.0	1.7	2.3	2.3	6.6
90歳以上	163	84.7	15.3	9.2	18.4	5.5	20.2	-	3.7	-	-	0.6	3.1	0.6	10.4	
要介護度	要支援1	271	80.1	24.7	26.6	31.0	8.1	22.1	3.0	17.7	4.1	1.1	2.2	1.5	2.2	7.4
	要支援2	203	83.3	20.2	26.1	27.6	4.9	35.0	0.5	16.3	-	1.0	3.4	2.0	1.5	4.9
	要介護1	122	86.9	14.8	21.3	20.5	6.6	33.6	0.8	3.3	1.6	0.8	0.8	4.1	0.8	5.7
	要介護2	125	83.2	11.2	10.4	22.4	4.0	31.2	0.8	4.0	3.2	0.8	0.8	3.2	0.8	5.6
	要介護3	88	81.8	6.8	8.0	23.9	1.1	31.8	2.3	3.4	3.4	1.1	1.1	3.4	3.4	5.7
	要介護4	72	80.6	9.7	16.7	22.2	4.2	36.1	-	6.9	-	-	-	1.4	2.8	9.7
	要介護5	69	75.4	4.3	11.6	14.5	1.4	44.9	-	1.4	-	1.4	1.4	4.3	1.4	10.1
	要介護・要支援認定を受けていない	1842	87.5	21.9	41.2	21.4	5.6	1.7	2.9	3.3	2.4	0.7	1.7	1.2	3.2	4.2

問41.災害時の避難

- 自然災害時の避難所への避難方法は、「自分で逃げることができる」が66.3%、「家族・親類が助けに来てくれると思う」が25.0%、「普段からつきあいのある隣近所の人、自治会、町内会の人々が助けてくれると思う」が16.6%で続く。
- 年齢別にみると、高齢になるほど「自分で逃げるができる」が減少し、「家族・親類が助けに来てくれると思う」が増加する。
- 生活の安心感別にみると、安心して暮らすことができない層は、「考えたことがない」が高くなっている。

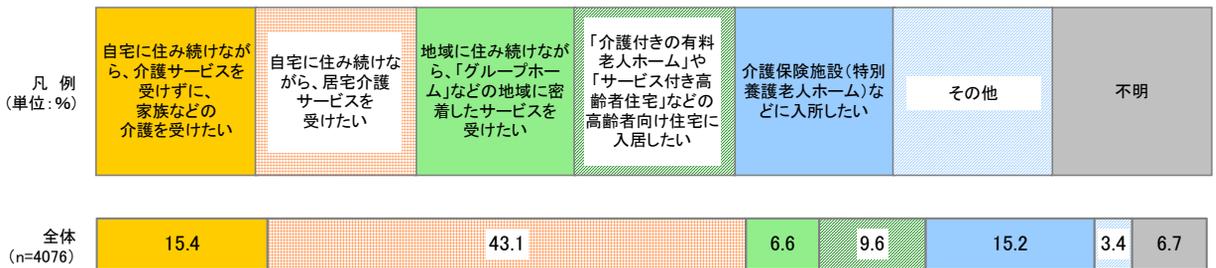


問41. 地震や台風などの自然災害があったとき、避難所などへどう逃げるか、考えていますか。(複数回答)

		サンプル数	自分で逃げる ことができる	家族・親類 が助けに 来てく れると思 う	近所 の人が 助けに 来てく れると 思う	普段 から つき あ い の 隣 近 所 の 人 が 助 け て く れ る と 思 う	市 町 村 役 場 と 相 談 し て 「 災 害 時 要 援 護 者 支 援 計 画 ( 登 録 制 度 )」 で 助 け て く れ る よ う 登 録 し て い る	施 設 の 職 員 が 助 け て く れ る	そ の 他	考 え た こ と が な い	不 明
全体		4076	66.3	25.0	16.6	1.6	2.6	3.2	6.8	6.5	
年齢	65～69歳	1065	80.0	16.1	11.1	0.6	0.3	2.2	6.4	5.3	
	70～74歳	1018	75.7	19.4	16.5	1.2	1.2	3.1	6.2	6.3	
	75～79歳	858	67.9	24.2	19.0	2.6	1.7	4.2	6.9	5.7	
	80～84歳	567	51.5	38.3	23.3	3.0	4.1	2.1	5.8	8.3	
	85～89歳	302	35.1	42.7	21.2	2.0	6.6	5.6	9.6	7.0	
	90歳以上	163	20.2	46.0	11.7	1.2	17.8	3.7	8.0	11.0	
世帯構成	一人暮らし	766	59.1	24.5	25.5	3.7	2.1	3.9	7.6	6.3	
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	74.5	22.2	17.2	1.2	0.7	3.7	6.6	5.2	
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	82.2	11.9	6.5	0.5	-	1.1	5.9	4.9	
	子どもと同居(世帯全員が65歳以上)	122	45.1	45.1	13.1	-	4.1	2.5	7.4	8.2	
	子どもと同居(65歳未満含む)	1134	65.2	30.7	13.8	1.1	0.8	2.8	6.1	6.9	
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	73.8	19.7	9.8	3.3	-	3.3	8.2	3.3	
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	61.0	36.6	22.0	-	-	2.4	7.3	4.9	
施設に入所	94	12.8	13.8	1.1	-	66.0	-	7.4	13.8		
生活の安心	安心して暮らすことができる	1055	71.0	28.7	20.6	1.3	2.5	1.5	4.8	5.6	
	どちらかという安心して暮らすことができる	2411	68.5	25.8	17.0	1.6	2.4	3.4	6.1	4.3	
	どちらかという安心して暮らすことができない	350	57.4	19.4	8.0	2.3	2.0	5.4	13.4	7.1	
	まったく安心して暮らすことができない	69	36.2	10.1	8.7	1.4	1.4	7.2	27.5	11.6	

問42.希望する暮らし方について

- 自分で身の回りのことができなくなった時は、「自宅に住み続けながら、居宅介護サービスを受けたい」が43.1%で最も多かった。以下、「自宅に住み続けながら、介護サービスを受けずに、家族などの介護を受けたい」が15.4%、「介護保険施設(特別養護老人ホーム)などに入所したい」が15.2%となっている。
- 性別×年齢で見ると、「自宅で家族などの介護を受けたい」は女性より男性で高く、特に男性80～84歳で高い。
- 世帯構成別にみると、現在同居者がいる層は「自宅で家族などの介護を受けたい」が高い。ただ、親族や友人などとの同居層は、施設等への入所意向も高め。

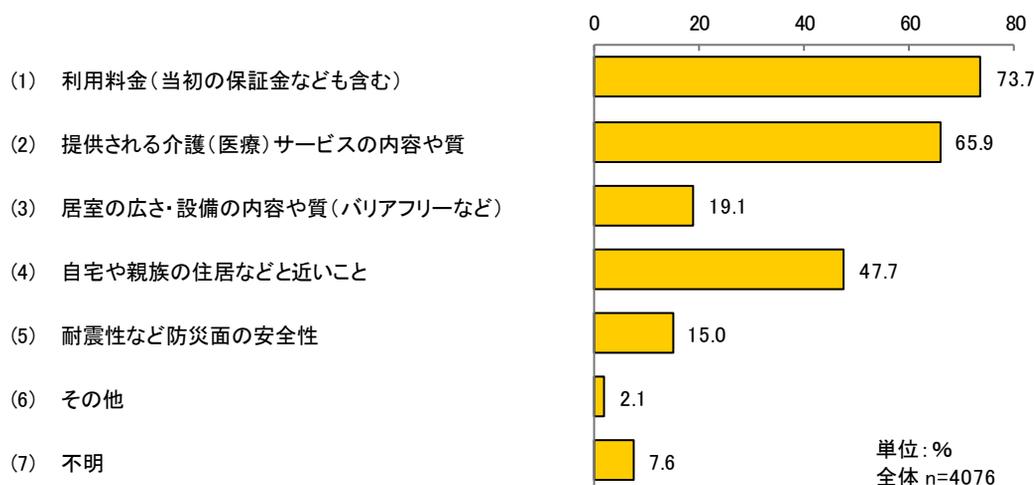


問42. あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合に、どのような暮らしを送りたいですか。

		サンプル数	15.4	43.1	6.6	9.6	15.2	3.4	6.7
全体		4076	15.4	43.1	6.6	9.6	15.2	3.4	6.7
性別×年齢	男性計	1711	20.4	42.2	5.3	8.9	14.1	3.5	5.6
	65～69歳	491	20.6	39.3	5.1	8.6	17.5	4.3	4.7
	70～74歳	440	20.2	41.1	7.5	8.6	15.5	2.0	5.0
	75～79歳	390	17.4	46.9	4.9	10.0	10.8	3.8	6.2
	80～84歳	219	26.9	42.5	3.7	5.9	11.0	4.1	5.9
	85～89歳	99	22.2	43.4	3.0	11.1	12.1	2.0	6.1
	90歳以上	37	8.1	40.5	-	18.9	16.2	2.7	13.5
	女性計	2150	11.8	43.9	7.8	10.1	16.0	3.4	6.9
	65～69歳	560	9.5	42.5	12.0	10.9	16.6	2.7	5.9
	70～74歳	543	9.4	46.2	8.8	8.8	16.9	3.7	6.1
75～79歳	425	14.6	44.7	6.4	10.8	13.6	3.3	6.6	
80～84歳	312	13.5	45.8	4.5	9.9	16.7	3.2	6.4	
85～89歳	177	13.0	45.2	4.0	11.3	13.0	4.5	9.0	
90歳以上	105	15.2	24.8	3.8	10.5	23.8	5.7	16.2	
世帯構成	一人暮らし	766	7.3	43.6	5.6	13.1	19.2	5.4	5.9
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳以上)	1535	15.1	46.3	7.1	10.1	13.1	2.7	5.6
	夫婦二人暮らし(配偶者が65歳未満)	185	21.6	43.2	5.9	6.5	15.7	3.2	3.8
	子ども同居(世帯全員が65歳以上)	122	21.3	39.3	5.7	6.6	9.8	4.9	12.3
	子ども同居(65歳未満含む)	1134	21.1	42.5	6.9	6.2	14.6	2.2	6.5
	親族又は友人などと同居(世帯全員が65歳以上)	61	14.8	31.1	9.8	14.8	23.0	1.6	4.9
	親族又は友人などと同居(65歳未満含む)	41	14.6	51.2	2.4	19.5	4.9	2.4	4.9
	施設に入所	94	2.1	9.6	6.4	21.3	30.9	10.6	19.1

問43.施設入所にあたって重視する点

- 施設入所にあたって重視する事項は、「利用料金」(73.7%)、「提供される介護(医療)サービスの内容や質」(65.9%)、「自宅や親族の住居などと近いこと」(47.7%)の順である。
- 年齢別にみると、「利用料金」「提供される介護(医療)サービスの内容や質」は、年齢が低い層ほど重視度が高い。

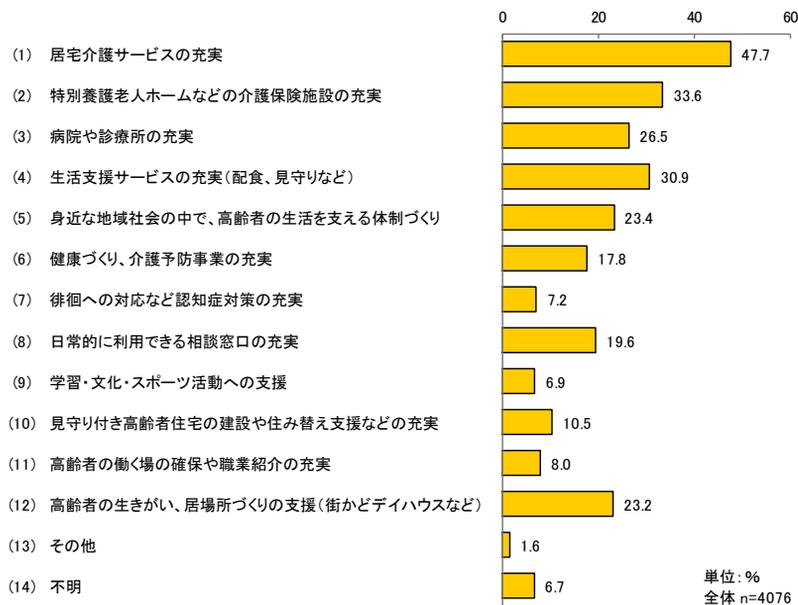


問43. あなたは、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・有料老人ホームなどの施設等に入所する場合、どのような事項を重視されますか。(複数回答)

		サンプル数	利用料金(当初の保証金なども含む)	提供される介護(医療)サービスの内容や質	居室の広さ・設備の内容や質(バリアフリーなど)	自宅や親族の住居などと近いこと	耐震性など防災面の安全性	その他	不明
全体		4076	73.7	65.9	19.1	47.7	15.0	2.1	7.6
年齢	65~69歳	1065	80.4	71.5	21.7	46.3	13.4	2.1	4.0
	70~74歳	1018	75.2	66.2	17.8	48.6	14.2	2.0	6.7
	75~79歳	858	73.5	64.7	17.7	47.8	16.4	2.7	9.2
	80~84歳	567	67.5	61.2	18.3	48.7	16.8	1.2	9.3
	85~89歳	302	64.2	59.6	20.9	46.7	17.2	3.3	10.3
	90歳以上	163	66.3	60.1	17.8	50.3	10.4	2.5	13.5

問44.今後、重要と思う施策

- 高齢者が生き生きと暮らし続けられる社会を築くために重要だと思う施策は、「居宅介護サービスの充実」(47.7%)、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」(33.6%)、「生活支援サービスの充実」(30.9%)の順である。
- 年齢別にみると、65～69歳では「生活支援サービスの充実」「高齢者の生きがい、居場所づくりの支援」が全体に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護3～4で「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」「徘徊への対応など認知症対策の充実」が高くなっている。

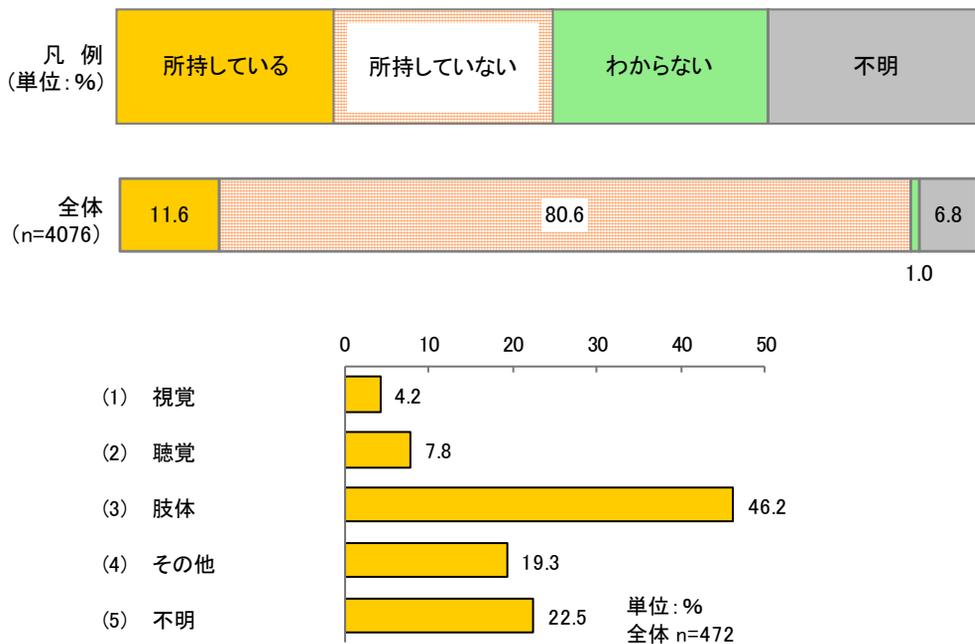


問44. あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策が重要と思いますか。(複数回答)

	サンプル数	居宅介護サービスの充実	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実	病院や診療所の充実	生活支援サービスの充実(配食、見守りなど)	身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり	健康づくり、介護予防事業の充実	徘徊への対応など認知症対策の充実	日常的に利用できる相談窓口の充実	学習・文化・スポーツ活動への支援	見守り付き高齢者住宅の建設や住み替え支援などの充実	高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実	高齢者の生きがい、居場所づくりの支援(街かどデイハウスなど)	その他	不明	
全体	4076	47.7	33.6	26.5	30.9	23.4	17.8	7.2	19.6	6.9	10.5	8.0	23.2	1.6	6.7	
年齢	65～69歳	1065	43.8	33.3	23.8	36.5	24.4	19.2	6.6	19.9	9.3	12.5	28.3	1.7	3.7	
	70～74歳	1018	47.5	31.8	26.3	30.4	25.5	17.5	7.0	19.0	8.0	9.9	26.5	1.6	5.3	
	75～79歳	858	51.6	34.1	26.5	28.2	20.3	20.3	6.3	19.9	6.4	9.6	5.2	23.0	1.5	7.5
	80～84歳	567	50.4	33.5	30.7	28.6	21.5	16.0	8.1	21.2	4.4	7.6	3.5	15.2	1.1	9.5
	85～89歳	302	50.7	37.1	30.8	27.2	23.5	13.2	7.6	17.5	3.6	10.6	4.3	15.2	2.3	8.9
90歳以上	163	43.6	39.3	25.2	28.8	22.7	11.0	12.3	16.6	1.8	6.1	3.7	17.8	1.8	15.3	
要介護度	要支援1	271	52.4	34.7	30.3	29.9	24.0	15.9	5.9	16.6	6.3	10.0	3.7	14.8	2.6	8.1
	要支援2	203	56.2	36.9	27.1	33.0	20.7	9.9	6.9	20.2	2.5	9.4	1.0	19.7	2.5	7.9
	要介護1	122	48.4	34.4	34.4	36.1	23.8	14.8	14.8	19.7	1.6	10.7	3.3	18.0	1.6	5.7
	要介護2	125	54.4	39.2	35.2	29.6	21.6	12.8	13.6	9.6	1.6	10.4	4.0	16.0	0.8	6.4
	要介護3	88	47.7	46.6	30.7	21.6	29.5	8.0	20.5	9.1	1.1	10.2	2.3	14.8	4.5	8.0
	要介護4	72	43.1	47.2	25.0	27.8	16.7	9.7	15.3	20.8	2.8	9.7	2.8	13.9	-	15.3
	要介護5	69	36.2	31.9	18.8	15.9	14.5	20.3	14.5	10.1	4.3	15.9	5.8	24.6	4.3	18.8
要介護・要支援認定を受けていない	1842	47.8	33.0	25.8	33.4	24.5	20.6	5.9	21.0	8.6	11.8	10.4	26.3	1.0	4.3	

## 問45.障がい者手帳の所持と種別

- 障がい者手帳については、「所持している」人は全体の11.6%。
- 障がい者手帳の種類は、「肢体」(46.2%)、「その他」(19.3%)、「聴覚」(7.8%)、「視覚」(4.2%)となっている。



問45-1. あなたは、障がい者手帳等を所持しておられますか。

	サンプル数	所持している	所持していない	わからない	不明
全体	4076	11.6	80.6	1.0	6.8

問45-2. あなたが所持している障がい者手帳等の種類をお答えください。(複数回答)【障がい者手帳等を所持している方】

	サンプル数	視覚	聴覚	肢体	その他	不明
全体	472	4.2	7.8	46.2	19.3	22.5

## 第3章 調査結果データ(集計表)

## ①構成比(%)

## ②実数



## 資料 アンケート調査票

